

独立行政法人国立少年自然の家の平成16年度に係る業務の実績に関する評価

全体評価

①評価を通じて得られた法人の今後の課題

- 国立少年自然の家は、「国立少年自然の家の使命」や「経営方針」を踏まえ、主催事業については、本部と各少年自然の家とが一体となって、少年の現代的課題に対応した先導的・モデル的な事業の開発や事業成果の発信・普及に努めるとともに、指導者研修事業では、参加者のニーズや指導経験を踏まえたより質の高い事業を実施することや、本部と各少年自然の家との連携による事業活動に取り組むことが期待される。
- 受入事業については、今後も引き続き体験活動の重要性や少年自然の家の教育機能の理解促進に努め、利用の増加を図ることを期待する。

②法人経営に関する意見

- 事業運営については、本部と各少年自然の家が連携し、一体となって少年自然の家の教育機能の理解促進に努めたことや未利用の小・中学校への訪問による積極的な広報活動等による利用者数の増加など、業務の改善・向上が図られ、概ね良好な事業運営に努めている。今後とも、少年教育の中核的施設として、事業への重点化を図ることや、更なる利用者サービスの向上に努めることを期待する。
- 管理運営については、指導系職員としての専門性の高い職員の計画的な養成・確保のために、準専門職員を採用するとともに、新たなプロパー職員として活動インストラクターの次年度からの採用に向けて検討及び準備を行ったことは評価できる。
- 業務運営については、引き続き光熱水料を始め諸経費の節減や業務の効率化を図る必要がある。

③特記事項(中期目標期間終了時の見直し作業、総務省からの指摘についての対応等)

- 今後は、国立オリンピック記念青少年総合センター、国立青年の家及び国立少年自然の家の青少年教育3法人の統合を踏まえ、我が国における少年教育の中心的施設として積極的な業務運営を行い、少年の「生きる力」の育成に努め、少年教育の先導的役割を果たしていくことを期待する。

独立行政法人国立少年自然の家の平成16年度に係る業務の実績に関する評価

項目別評価総表

項目名	中期目標期間中の評価の経年変化 [※]				
	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置					
1 施設の連携体制の状況	A	A	A	A	
2 業務の効率化状況	A	A	B	B	
II 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置					
1 主催事業の実施状況	A	A	A	A	
2 受入れ事業の実施状況	A	A	B	A	
3 少年教育指導者研修の実施状況	B	A	A	A	
III 予算、収支計画及び資金計画					
収入の確保等の状況	B	B	A	B	
IV 短期借入金の限度額					
短期借入金の借入状況	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
V 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画					
重要財産の処分等状況	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
VI 剰余金の使途					
剰余金の使用等の状況	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
VII その他文部科学省令で定める業務運営に関する事項					
1 施設・設備の整備状況	A	A	A	B	
2 人事管理の状況	A	A	A	A	

※当該中期目標期間の初年度から経年変化を記載。

(注)平成13年度及び14年度については、A, B, Cの3段階評価
平成15年度以降については、A⁺, A, B, C, C⁻の5段階評価

【参考資料1】予算、収支計画及び資金計画に対する実績の経年比較(過去5年分を記載)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
収入						支出					
運営費交付金	4,329	4,250	4,115	4,037		業務経費	4,321	4,199	4,256	4,110	
施設整備費補助金	772	664	1,066	631		管理運営費	2,947	2,829	2,800	2,735	
事業収入等	7	38	88	128		事業費	1,374	1,370	1,456	1,375	
無利子借入金	-	471	-	-		施設整備費	773	1,135	1,066	631	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	471		借入償還金	-	-	-	471	
前期繰越	-	14	104	51							
計	5,108	5,437	5,373	5,318		計	5,094	5,334	5,322	5,212	

(単位:百万円)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
費用						収益					
経常費用	4,935	4,223	4,245	4,163		運営費交付金収益	4,153	4,085	4,054	3,940	
事業経費	2,865	2,367	2,456	2,385		事業収入	3	3	74	97	
管理運営費	1,977	1,723	1,678	1,671		受託収入	2	26	6	9	
受託経費	2	26	6	9		寄附金収益	-	-	3	17	
減価償却費	91	107	105	98		資産見返運営費交付金戻入	2	17	28	38	
財務費用	-	-	0	0		資産見返物品受贈額戻入	89	90	77	60	
						物品受贈益	686	2	4	1	
						財務収益	0	0	0	0	
						雑益	1	9	1	1	
						臨時損失	-	-16	-1	-1	
						臨時利益	-	16	-	4	
計	4,935	4,223	4,245	4,163		計	4,936	4,232	4,246	4,166	
						純利益	1	9	1	3	
						目的積立金取崩額	-	-	-	-	
						総利益	1	9	1	3	

注1:15年度「財務費用」10,247円

注2:16年度「財務費用」110,097円

注1:13年度「財務収益」100,268円、「純収益」、「総利益」774,463円

注2:14年度「財務収益」13,080円

注3:15年度「財務収益」8,904円、「純収益」、「総利益」723,018円

注4:16年度「財務収益」8,411円

(単位:百万円)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
資金支出						資金収入					
業務活動による支出	-3,708	-4,335	-4,122	-4,014		業務活動による収入	4,335	4,280	4,201	4,162	
投資活動による支出	-883	-1,269	-1,171	-600		運営費交付金による収入	4,329	4,250	4,115	4,037	
財務活動による支出	-	-	-	-		事業収入	3	3	71	97	
						受託収入	3	26	6	9	
						寄附金収入	-	-	3	17	
						利息受取額	0	0	0	0	
						利息支払額	-	-	-	0	
						消費税還付金収入	-	1	9	-	
						消費税等の支払額	-	-	-3	-2	
						災害による保険金収入	-	-	-	4	
						原子力立地給付金による収入	-	-	-	0	
						投資活動による収入	772	664	1,066	631	
						有形固定資産売却による収入	-	-	0	-	
						施設整備費補助金による収入	772	664	1,066	631	
						財務活動による収入	-	471	-	-	
						施設整備資金貸付金	-	471	-	-	
						資金期首残高	-	516	327	301	
計	-4,591	-5,604	-5,293	-4,614		計	5,107	5,931	5,594	5,094	

注1:13年度「利息受取額」100,268円

注2:14年度「利息受取額」13,080円、「消費税還付金収入」732,456円

注3:15年度「利息受取額」8,904円、「有形固定資産売却による収入」52,500円

注4:16年度「利息受取額」8,418円、「利息支払額」-112,081円

「原子力立地給付金による収入」659,244円

【参考資料2】貸借対照表の経年比較(過去5年分を記載)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
資産						負債					
流動資産	522	340	310	486		流動負債	522	329	457	475	
固定資産	24,166	24,198	24,193	23,679		固定負債	522	1,026	884	523	
						負債合計	1,044	1,355	1,341	998	
						資本					
						資本金	24,425	24,425	24,425	24,425	
						資本剰余金	-782	-1,252	-1,273	-1,272	
						利益剰余金	1	10	10	14	
						(うち当期末処分利益)	(1)	(9)	(1)	(3)	
						資本合計	23,644	23,183	23,162	23,167	
資産合計	24,688	24,538	24,503	24,165		負債資本合計	24,688	24,538	24,503	24,165	

注1:13年度「利益剰余金」、「(うち当期末処分利益)」774,463円

注2:15年度「(うち当期末処分利益)」723,018円

【参考資料3】利益(又は損失)の処分についての経年比較(過去5年分を記載)(単位:百万円)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
I 当期末処分利益	1	9	1	3	
当期総利益	1	9	1	3	
前期繰越欠損金					
II 利益処分額					
積立金	1	9	1	3	
独立行政法人通則法第44条第3項 により主務大臣の承認を受けた額					

注1:13年度「当期末処分利益」、「利益処分額」774,463円

注2:15年度「当期末処分利益」、「利益処分額」723,018円

【参考資料4】人員の増減の経年比較(過去5年分を記載)(単位:人)

職種 [※]	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
定年制事務職員	265	265	258	252	243
任期制事務職員	0	0	6	12	19

※職種は法人の特性によって適宜変更すること
各年度4月1日現在

独立行政法人国立少年自然の家の平成16事業年度に係る業務の実績に関する評価[項目別評価]

○業務運営の効率化に関する事項

中期計画の各項目	評価項目	評価基準					評価に係る実績	評 定	
	指 標	A ⁺	A	B	C	C ⁻		A ⁺ AB CC ⁻ 評定	留 意 事 項
I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置									※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
1 全国に分散した施設を機能的に統合して連携体制を整備し、事務の集中管理による簡素化・合理化を図る。	施設の連携体制の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。						A	<p>○各少年自然の家の事業部門強化のため、庶務課を事業企画課、事業課を事業推進課にするなど組織名称を変更するとともに、両課の業務協力の一層の推進、業務に係る情報の共有、業務分掌の見直し等を行ったことは評価できます。</p> <p>○また、法人本部と各少年自然の家が一体となって取組んだ連携事業や他施設への職員研修派遣制度による連携協力は高く評価できます。</p> <p>○今後も、本部と各施設の連携を図るとともに、各施設間の連携協力を推進し、業務の効率化を図ることを期待します。</p>
	①事務の集中管理による簡素化、効率化状況	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>					<p>(1)各少年自然の家の事業部門強化を目指した組織名称の見直し及び取組</p> <p>○事業部門に重点を置いた一体的な業務運営をねらいとして、各少年自然の家の課・係名称を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庶務課→事業企画課 ・事業課→事業推進課 ・庶務係→企画調整係(11)、経営企画係(1)、連絡調整係(1)、企画係(1) ・会計係→活動支援係(5)、施設管理係(4)、経営管理係(3)、管理支援係(1)、企画管理係(1) ・業務係→事業サービス係(6)、利用サービス係(3)、事業推進係(2)、事業係(1)、事業調整係(1)、事業支援係(1) <p>○各少年自然の家における事業部門強化のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両課の業務協力体制(企画課→推進課) (主催事業への参画、運営協力<11施設>、繁忙期における退所点検等の業務協力など) ・両課の業務協力体制(推進課→企画課) (営繕・補修関係の協力<5施設>、主催事業、ボランティア等に関する情報の共有など) ・業務内容の情報共有 (事務連絡会、運営連絡会等の打ち合わせ及び朝礼の実施<7施設>所内LAN、運営ファイル、ホワイトボード等の活用による業務内容の共通認識<4施設>) ・業務分掌内容の見直し (所内事務分掌規則等の改正<5施設>、広報活動業務を事業企画課主体に移行<2施設>) ・人員配置 (非常勤職員の事業推進課への重点配置<3施設>、事業企画課から事業推進課へ1名配置転換<1施設>、活動支援係から専門職員への振替<1施設>、大型免許を有する非常勤職員の雇用<1施設>) ・その他(企画課による、広報をねらいとした主催事業の実施など<2施設>) <p>(2)法人本部と各少年自然の家の連携協力事業等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『全国「子どもと自然体験」フェスティバル』の開催(法人として初めて本部と14施設で一体となって実施。) ・「海洋型施設連携研究会」による海の活動に関する発信・普及のための取組(海型3施設<若狭湾・室戸・大隅>による連携事業) ・子どもの広域交流事業の実施(5施設<日高・立山・山口徳地・室戸・大隅>で「日本列島ともだちの輪」の事業を実施) ・職員の派遣による業務の支援(第16回全国生涯フェスティバルへ法人本部と3施設<室戸・吉備・山口徳地>から職員7名を派遣) ・職員研修派遣制度による連携協力(8施設から6施設へ13名派遣) <p>(3)事務の簡素化・効率化を図るための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事、会計事務の本部一括処理による一元化の推進(新たに本部に総務課を設置し、総務・人事・主計・経理・施設の5係体制とする等) ・事務の標準化の推進(・旅費、謝金の支給基準の策定等) ・職場における事務改善の取組(・課・係で問題を抽出して見直し ・職員個々からの改善意見による見直し等) ・事務の簡素化、効率化を図るための業務運営の見直し(・ホームページ・事務環境・勤務体制・受入業務・事務分掌・事務処理等) 		

- A⁺ : 特に優れた実績を上げている。
- A : 中期計画を十分に履行し、中期目標に向かって着実に成果を上げている。
- B : 中期計画をほぼ履行し、中期目標に向かって概ね成果を上げている。
- C : 中期計画を十分には履行しておらず、中期目標達成のためには業務の改善が必要である。
- C⁻ : 評価委員会として業務改善の勧告を行う必要がある。

中期計画の各項目	評価項目	評価基準					評価に係る実績	評 定																																																																													
	指 標	A	A	B	C	C		A・B C・C 評定	留 意 事 項																																																																												
1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置									※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																																																																												
2 光熱水料の節減、外部委託、情報化、調達方法、支払窓口の一本化等の見直しを進める。	業務の効率化状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。						B	<p>○法人が一体となって業務運営の効率化を目指し、運営費交付金の効率的な執行に努めたことは評価できません。</p> <p>○光熱水料の節減では、原油の全国的な価格の高騰や利用者数の増加などにより、使用料金・使用量が、電気を除き昨年を上回りましたが、利用者一人当たりの使用量では、灯油を除き微量ではありますが減少しており、節減への努力の成果が見られます。</p> <p>○引き続き、職員一人ひとりの節減意識の徹底や利用者への協力依頼により、節減への努力を期待します。</p>																																																																												
	①光熱水料の節減状況	<p>光熱水料については、少年自然の家の立地条件、施設設備の内容、利用者数、気候条件等により変動があるが、利用者へのサービス低下を招くことがないように配慮しつつ、効率的な運営に努め、引き続き職員一人ひとりの節減への意識の徹底や利用者への電気・水道等の使用量の節減に対する理解、協力を求めるなど節減に向けて様々な取組を行った。</p> <p>また、電気・水道等の使用量の節減に特に取組み、努力するよう所長会議や課長会議などで周知を図った。</p> <p>【光熱水の支出額実績】 上段：使用量、下段：支出実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成15年度実績(A)</th> <th>平成16年度実績(B)</th> <th>差引(A)-(B):(C)</th> <th>節減率(C)/(A)*100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電 気</td> <td>7,353,986kwh</td> <td>6,972,594kwh</td> <td>381,392kwh</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>128,143,902 円</td> <td>121,006,360 円</td> <td>7,137,542 円</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 道</td> <td>307,824 m³</td> <td>309,645 m³</td> <td>△ 1,821 m³</td> <td>△ 0.6%</td> </tr> <tr> <td>46,629,649 円</td> <td>49,716,593 円</td> <td>△ 3,086,944 円</td> <td>△ 6.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガ ス</td> <td>10,056 m³</td> <td>11,359 m³</td> <td>△ 1,303 m³</td> <td>△ 13.0%</td> </tr> <tr> <td>2,687,544 円</td> <td>3,049,032 円</td> <td>△ 361,488 円</td> <td>△ 13.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重 油</td> <td>1,460,358 ㍓</td> <td>1,463,329 ㍓</td> <td>△ 2,971 ㍓</td> <td>△ 0.2%</td> </tr> <tr> <td>50,577,779 円</td> <td>57,733,216 円</td> <td>△ 7,155,437 円</td> <td>△ 14.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">灯 油</td> <td>257,595 ㍓</td> <td>286,057 ㍓</td> <td>△ 28,462 ㍓</td> <td>△ 11.0%</td> </tr> <tr> <td>10,727,451 円</td> <td>13,847,937 円</td> <td>△ 3,120,486 円</td> <td>△ 29.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>238,766,325 円</td> <td>245,353,138 円</td> <td>△ 6,586,813 円</td> <td>△ 2.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※節減率は小数点第2位四捨五入</p> <p>【利用者1人あたりの使用量】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電気(kwh)</th> <th>ガス(m3)</th> <th>水道(m3)</th> <th>重油(㍓)</th> <th>灯油(㍓)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15年度(A)</td> <td>5.20</td> <td>0.006</td> <td>0.22</td> <td>1.04</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>16年度(B)</td> <td>4.79</td> <td>0.003</td> <td>0.21</td> <td>1.01</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>(A-B)</td> <td>0.41</td> <td>0.003</td> <td>0.01</td> <td>0.03</td> <td>△0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>※総使用量÷稼働数=1人あたりの使用量</p> <p>・重油、灯油等については、全国的な価格の高騰などにより、使用料が昨年を上回ったが、一人当たりの使用量を前年度と比較すると電気・ガス・水道・重油において、微量ではあるが、どれも下回った。</p>					区分			平成15年度実績(A)	平成16年度実績(B)	差引(A)-(B):(C)	節減率(C)/(A)*100	電 気	7,353,986kwh	6,972,594kwh	381,392kwh	5.2%	128,143,902 円	121,006,360 円	7,137,542 円	5.6%	水 道	307,824 m ³	309,645 m ³	△ 1,821 m ³	△ 0.6%	46,629,649 円	49,716,593 円	△ 3,086,944 円	△ 6.6%	ガ ス	10,056 m ³	11,359 m ³	△ 1,303 m ³	△ 13.0%	2,687,544 円	3,049,032 円	△ 361,488 円	△ 13.5%	重 油	1,460,358 ㍓	1,463,329 ㍓	△ 2,971 ㍓	△ 0.2%	50,577,779 円	57,733,216 円	△ 7,155,437 円	△ 14.1%	灯 油	257,595 ㍓	286,057 ㍓	△ 28,462 ㍓	△ 11.0%	10,727,451 円	13,847,937 円	△ 3,120,486 円	△ 29.1%	計	238,766,325 円	245,353,138 円	△ 6,586,813 円	△ 2.8%		電気(kwh)	ガス(m3)	水道(m3)	重油(㍓)	灯油(㍓)	15年度(A)	5.20	0.006	0.22	1.04	0.18	16年度(B)	4.79	0.003	0.21	1.01	0.20	(A-B)	0.41	0.003	0.01
区分	平成15年度実績(A)	平成16年度実績(B)	差引(A)-(B):(C)	節減率(C)/(A)*100																																																																																	
電 気	7,353,986kwh	6,972,594kwh	381,392kwh	5.2%																																																																																	
	128,143,902 円	121,006,360 円	7,137,542 円	5.6%																																																																																	
水 道	307,824 m ³	309,645 m ³	△ 1,821 m ³	△ 0.6%																																																																																	
	46,629,649 円	49,716,593 円	△ 3,086,944 円	△ 6.6%																																																																																	
ガ ス	10,056 m ³	11,359 m ³	△ 1,303 m ³	△ 13.0%																																																																																	
	2,687,544 円	3,049,032 円	△ 361,488 円	△ 13.5%																																																																																	
重 油	1,460,358 ㍓	1,463,329 ㍓	△ 2,971 ㍓	△ 0.2%																																																																																	
	50,577,779 円	57,733,216 円	△ 7,155,437 円	△ 14.1%																																																																																	
灯 油	257,595 ㍓	286,057 ㍓	△ 28,462 ㍓	△ 11.0%																																																																																	
	10,727,451 円	13,847,937 円	△ 3,120,486 円	△ 29.1%																																																																																	
計	238,766,325 円	245,353,138 円	△ 6,586,813 円	△ 2.8%																																																																																	
	電気(kwh)	ガス(m3)	水道(m3)	重油(㍓)	灯油(㍓)																																																																																
15年度(A)	5.20	0.006	0.22	1.04	0.18																																																																																
16年度(B)	4.79	0.003	0.21	1.01	0.20																																																																																
(A-B)	0.41	0.003	0.01	0.03	△0.02																																																																																

<p>光熱水料の節減率 ★目標:1%</p> <p>(前年度光熱水料一当 該年度光熱水料) / 前年度光熱水料 注)利用者数の増減を勘 案する</p>	<p>1.5% 以上</p> <p>1.0% 以上 1.5% 未満</p> <p>1.0% 未満</p>	<p>(1) 光熱水料の節減率</p> <p>平成15年度 238,766,325円 平成16年度 245,353,138円 節減率・・・△2.8%:(節減目標:1%)</p> <p>$\frac{(15年度光熱水料実績額 - 16年度光熱水料実績額) \times 100}{15年度光熱水料実績額}$</p> <p>$\frac{(238,766,325円 - 245,353,138円) \times 100}{238,766,325円} = \Delta 2.8\%$</p>
<p>② 外部委託の見直し状況</p>		<p>○ 外部委託については、法律に基づく業務や特殊業務、専門的な資格が必要な業務を除き、少年自然の家の事務の効率化、経費の効率的運用を図る観点から検討を行い、外部委託を推進した。</p> <p>平成16年度は、新たに6施設において8業務の外部委託を行い、2施設で2業務の外部委託を廃止した。</p>
<p>③ 事務の情報化の状況</p>		<p>○ 法人としての情報の共有化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人としての重要な運営方針や共通の課題、各少年自然の家の先導的な取組事例等、共有すべき情報については、昨年度に引き続き所長会議や所長と役員との懇談会、課長会議等において情報の共有に努めた。 ・理事長からの業務運営に関する方針や法人としての新たな取組、各少年自然の家の先導的な事業事例等、法人の全職員が共有すべき情報は、昨年度に引き続き、法人内のイントラネット上の掲示板(フォーラム)を活用して、情報の共有化に努めた。 ・法人内の文書発出について、電子メールを活用し、情報提供の迅速化、ペーパーレス化に努めた。
<p>④ 物品の調達方法の改善状況</p> <p>注)「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」への対応に配慮する</p>		<p>○ 少年自然の家の業務運営に必要な物品等の調達では、規格、数量など条件にあった物品等を法人の規程に基づき、迅速かつ効率的な調達を行った。また、少年自然の家は、市街地から離れた場所にあるため、まとめ買い等により事務の停滞を防止する工夫を行った。</p> <p>① 調達における契約方法の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約から競争入札に変更(2件 <給食業務委託契約・シーツ等リネンサプライ業務 >) <p>② まとめ買いによる調達の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部及び14施設で市価よりも安価に調達可能なまとめ買いを実施した。 <p>調達品目:コピー用紙、トイレトペーパー、蛍光管、封筒、消耗品等</p> <p>③ 消耗品等の通信販売システムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務用物品を中心に、定価よりも安く購入でき、物品を宅配便で配達する通信販売システムは、発注した翌日に調達できることから、本部を含めて8施設で活用した。
<p>⑤ 1%の業務の効率化</p> <p>★目標:1%</p> <p>(運営費交付金予算額÷0.99 - 運営費交付金決算額) ÷ 運営費交付金予算額 ÷ 0.99</p> <p>注)新規・拡充分を除く 注)目的積立金への積立分を除く</p>	<p>1.5% 以上</p> <p>1.0% 以上 1.5% 未満</p> <p>1.0% 未満</p> <p>※文部科学省独立行政法人評価委員会総会が示す統一的な考え方</p>	<p>○ 光熱水料の節減等、法人が一体となって業務運営の効率化を目指した結果、平成16年度は2.3%の業務の効率化を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標:1% 平成16年度の実績:2.3% <p>$\frac{(運営費交付金予算額 \div 0.99 - 運営費交付金決算額) \div (運営費交付金予算額 \div 0.99)}{(4,036,757千円 \div 0.99 - 3,982,899千円) \div (4,036,757千円 \div 0.99)}$</p>

○国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

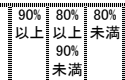
中期計画の各項目	評価項目	評価基準					評価に係る実績	評 定																																															
	指 標	A'	A	B	C	C'		A'AB CC 評定	留 意 事 項																																														
II 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置									※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																																														
<p>I 少年の団体宿泊訓練に関する事項・主催事業</p> <p>主催事業を計画するに当たり、①継続事業においては、前回の事業の成果を踏まえ、継続していく必要性や事業のねらいを明確にする。②新規事業においては、地域の実情に照らし、現代的な課題とは何かについての的確な情報を収集、調査分析を行い、その展開方法について各分野の専門家の意見を取り入れるなど、もつとも成果が上がるような計画を策定する。</p> <p>また、計画策定に当たり、過去の同種の事業の参加人数や指導者の許容範囲を勘案しながら適正な事業規模とする。事業終了後において、当初の目的が達成されたか、報告書を作成し、結果や評価等の調査研究を行う。</p> <p>以上のことから中期目標期間中に、以下の主催事業を計画的に実施する。</p> <p>(1) 各施設の实情や立地条件等に基づいた、独自性を発揮した事業の企画、適切な目的・内容・方法・対象・時期などを踏まえた事業の実施、公立青年の家等に対する事業内容・運営手法などの成果の普及、事業評価に基づく課題の改善を促す。</p> <p>また、自然体験活動、ボランティア活動、環境学習、異年齢交流など、適切な手法で事業の目的を達成するように促す。</p> <p>なお、事業の効果をより高めるために、施設周辺の自然環境の活用、関係機関等との連携、地域の課題への対応などにも留意を促す。</p> <p>(2) 平成14年度から実施の完全学校週5日制に対応するため、これまでの学校週5日制対応事業の成果をまとめ、平成14年度以降の学校週5日制対応事業について、その在り方を検討し、検討結果に沿って実施し、その成果を公立少年自然の家等に普及する。</p> <p>(3) 調査研究・開発体制を整え、新しい活動プログラムの開発・実施・普及計画を立て、新規プログラムを開発し、公立少年自然の家等に普及する。</p> <p>(4) 主催事業参加者から高い評価が得られるよう、各施設において事業の企画、参加者への対応等が適切に行われるよう促す。</p>	<p>主催事業の実施状況</p> <p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p> <p>① 現代的課題 今日的な少年教育に関する事業への取組状況</p>	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>【主催事業における評価の視点】</p> <p>(1)事業の企画・立案段階に関する評価</p> <p>○継続事業:前回の事業内容の分析とその成果や課題を踏まえた改善状況○新規事業:ニーズの把握、的確な情報の収集・分析を通じた現代的課題に対応する事業の企画状況○専門家等からの意見の聴取と専門性の高い事業の実施状況</p> <p>(2)事業の実施・展開段階での評価</p> <p>○関係機関・団体との連携による事業展開の状況○効果的・効率的な事業運営○広報の適切性</p> <p>(3)事業の「安全管理」に関する評価</p> <p>○事業の実施前・実施中における安全対策</p> <p>(4)「事業の成果」に関する評価</p> <p>○平成15年度の「自己点検・評価」における課題への対応○事業のねらい・目的の達成状況○参加者の満足度(80%以上)</p> <p>○適切な定員による事業の実施○費用対効果の検討○事業成果の普及の取組み○改善すべき課題等の把握</p> <p>国立少年自然の家では、異年齢集団での長期にわたる冒険的な活動を通して子どもたちの自主性・主体性や社会性を育む「長期自然体験活動事業」、長期の移動型キャンプ等を通して困難を乗り越え自分への自信や行動への積極性、社会性を育む「不登校児童・生徒等を対象とした事業」、少年自然の家の豊かな自然や体験活動プログラムを活かした学校との連携による「総合的な学習の時間に対応した事業」、「環境学習に対応した事業」など、少年自然の家の教育機能を発揮し、少年の体験活動の推進・充実に努めている。また、本年度は、年度計画において、小学校低学年の体験活動の推進への取組を掲げ、プログラム等の開発に努めた。</p> <p>【少年を対象とした主催事業】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業内容</th> <th>事業数</th> <th>満足度(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">取組状況</td> <td>①少年の現代的な課題等に対応した事業</td> <td>45</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>ア.「長期自然体験活動」</td> <td>(12)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ.「不登校児童・生徒等」</td> <td>(7)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ.「障害児(者)を対象とし、ノーマライゼーション等を目的」</td> <td>(10)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ.「環境教育・環境学習」</td> <td>(4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ.「国際理解・国際交流」</td> <td>(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カ.「科学する心を育む」</td> <td>(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ.「異文化理解・交流」</td> <td>(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②施設の特徴・立地条件を活かした事業</td> <td>22</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td>③小学校低学年を対象とした事業</td> <td>10</td> <td>93.1</td> </tr> <tr> <td>④学校との密接な連携による事業</td> <td>16</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>⑤その他少年の健全育成を図るための事業</td> <td>3</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>⑥保護者を対象とした事業</td> <td>3</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>⑦公開シンポジウム等による発信・普及事業</td> <td>6(再掲1)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○少年の「現代的課題」、各施設の立地条件等を活かした特色ある事業等、合わせて104事業を実施し、少年に豊かな体験活動の機会を提供することができた。</p> <p>○これらのうち、33事業を「重点事業」として位置づけ、外部の専門家等の協力を得て事業を展開し、その成果を関係機関に発信することができた。</p> <p>○小学校低学年を対象とした事業については、年度計画に位置づけ、8施設で10事業を実施するとともに、学校との密接な連携による事業では、事業企画の段階から職員が学校に向いた打ち合わせ、学校との共同での企画・運営、事前・事後に職員が出向いて授業を実施する等、より充実した連携となるように努めた。</p>	事業内容		事業数	満足度(%)	取組状況	①少年の現代的な課題等に対応した事業	45	92.0	ア.「長期自然体験活動」	(12)		イ.「不登校児童・生徒等」	(7)		ウ.「障害児(者)を対象とし、ノーマライゼーション等を目的」	(10)		エ.「環境教育・環境学習」	(4)		オ.「国際理解・国際交流」	(2)		カ.「科学する心を育む」	(5)		キ.「異文化理解・交流」	(5)		②施設の特徴・立地条件を活かした事業	22	91.9	③小学校低学年を対象とした事業	10	93.1	④学校との密接な連携による事業	16	92.5	⑤その他少年の健全育成を図るための事業	3	85.7	⑥保護者を対象とした事業	3	91.0	⑦公開シンポジウム等による発信・普及事業	6(再掲1)		<p>A</p> <p>○少年自然の家では、「長期自然体験活動事業」「不登校児童・生徒等を対象とした事業」「学校との連携による事業」など、少年の現代的課題に対応した事業に取組むとともに、今年度は特に小学校低学年を対象とした事業を年度計画に位置づけ、プログラムや活動用具の開発に努めたことは評価できます。</p> <p>○また、「学校との連携による事業」では、学校との共同での企画・運営、事前・事後に職員が出向いて授業を行う等、より充実した連携となるよう取組んだことも評価できます。</p> <p>○今後も、事業の一層の充実のため、更なる地元との積極的な連携や開発したプログラム等、その成果の公立施設等への発信に努めていくことを期待します。</p>	<p>アンケート調査による参加者の満足度 ★目標：80%以上</p> <table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上 90%未満</td> <td>80%未満</td> </tr> </table> <p>91.0%</p>	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満
事業内容		事業数	満足度(%)																																																				
取組状況	①少年の現代的な課題等に対応した事業	45	92.0																																																				
	ア.「長期自然体験活動」	(12)																																																					
	イ.「不登校児童・生徒等」	(7)																																																					
	ウ.「障害児(者)を対象とし、ノーマライゼーション等を目的」	(10)																																																					
	エ.「環境教育・環境学習」	(4)																																																					
	オ.「国際理解・国際交流」	(2)																																																					
	カ.「科学する心を育む」	(5)																																																					
	キ.「異文化理解・交流」	(5)																																																					
	②施設の特徴・立地条件を活かした事業	22	91.9																																																				
	③小学校低学年を対象とした事業	10	93.1																																																				
④学校との密接な連携による事業	16	92.5																																																					
⑤その他少年の健全育成を図るための事業	3	85.7																																																					
⑥保護者を対象とした事業	3	91.0																																																					
⑦公開シンポジウム等による発信・普及事業	6(再掲1)																																																						
90%以上	80%以上 90%未満	80%未満																																																					

② 学校週5日制対応事業
についての取組状況

土・日に、子どもたちに豊かな自然の中での様々な体験活動の機会を提供するとともに、家族が共通の体験活動を通して、家族のふれあいや絆を深めることをねらいとした「学校週5日制対応事業」及び地域の人々やこれまで少年自然の家をあまり知らない方々に少年自然の家の活動プログラムや少年自然の家の取組を体験・理解してもらうための「施設開放事業」等、シリーズでの事業を含め48事業を実施した。うち、新規事業は14事業である。

取組状況	・前年度の参加者数を踏まえた定員の設定に取り組んだ結果、定員超過の事業数は、5.4ポイント減(昨年度37.3%)の改善が図られた。また、多くの参加者が予想される事業では、多様な自然体験活動、多様な体験コーナーの設置、自然体験活動のコースの選択制の導入等を行い、利用者のニーズに対応できるような活動プログラムの提供に努めた。
	・「施設開放事業」では、少年自然の家の取組を多くの国民に知ってもらうこともねらいとしていることから、新規の参加者獲得のため、関係機関との連携による広報、新聞・ラジオ・TV等の報道機関の活用、多くの人が集まる場所での事業のPR等、各少年自然の家とも工夫した広報活動に取り組んだ。
	参加人数 26,388人

アンケート調査による参加者の満足度
★目標:60%以上



91.4%

③ プログラムの開発及び普及状況

少年自然の家における事業活動を通じた実践的な調査研究や多様な事業プログラムの開発では、大学の教員・学校の教員・地域の指導者等と連携し実施することができた。

事業プログラムの開発等		事業数
①教育効果に関する実証的な調査研究プログラム		16
②法人職員を対象とした教育的な効果等に関する研究		4
③事業プログラムの開発		29
調査研究		
取組状況	<p>・教育効果の検証に関する実証的な調査研究は、長期自然体験活動事業が参加者に及ぼす効果、障害のある子どもへの体験活動のあり方や支援方策、水辺活動の「生きる力」に与える効用等をテーマとして9施設と本部で16の調査研究を実施した。</p> <p>・事業プログラムの開発では、総合的な学習の時間、長期自然体験活動、障害児、不登校、歴史・文化等をテーマとして、13施設が29の事業プログラムを開発した。</p> <p>・本年度から新たな取組として、国立少年自然の家の教育事業活動における教育的な効果等に関する法人職員の研究意欲の向上等を図るねらいで、法人職員を対象として、研究申請に基づく研究費助成の取組を行った。研究期間は1年間とし、1件あたり30万円を限度として助成した。10施設15名から15件の申請があり、4件を採択した。</p>	

④ 事業成果及び調査研究の取りまとめ状況と関係機関への普及状況

主催事業や調査研究を通して得た成果は、「主催事業報告書」「調査研究報告書」として取りまとめを行い、その成果を公立少年自然の家、県市町村の教育委員会、その他の教育関係機関等に広く配付し、普及に努めた。

○事業成果・調査研究の取りまとめ状況

事業成果報告書等	報告書	刊行部数
ア. 主催事業実施報告書	34	26,440
イ. 調査研究報告書	13(4)	13,850(3,000)
合計	47(4)	40,290(3,000)

※()は再掲数

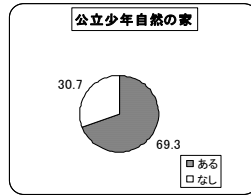
○調査研究報告書の内容

施設名	調査研究報告書名	冊数
日高	主催事業報告書(再掲)	1,000
花山	「ふれあい新発見冒険隊報告書」～青少年教育施設における「青少年の社会性を育む長期体験活動事業」の在り方に関する調査研究(2年次)～(再掲)	700
那須甲子	集団宿泊体験の効果的な在り方に関する調査	700
信州高遠	信州高遠生活学校 ～生活体験学習～	2,000
	体験活動に必要な作物 ～グリーンアドベンチャー作物編～	3,000
妙高	オープン・ザ・ドア! ～太平洋から日本海へ～(再掲)	1,000
立山	『豊かな森からの発信! ちほら立山エコセンター「総合的な学習の時間のプログラム開発」その2』	1,150
	キッズ 自然は友だちⅠ	1,200
吉備	国立吉備少年自然の家におけるボランティアの養成と活動について	500
山口徳地	障害のある子どもの自然体験活動プログラム	300
室戸	海の自然体験活動研究会報告書Ⅲ	1,000
大隅	平成16年度事業実施報告書集(再掲)	300
本部	自然体験活動が豊かな人間性、特に情意面に及ぼす影響に関する研究 ～小・中学生の「いのちの大切さ」「自然に対する感性」「達成意欲」などに関して～	1,000

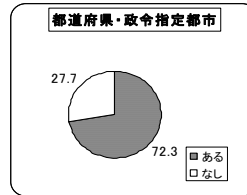
・今年度新たに報告書等の情報が具体的に公立少年自然の家等でどのように活用されているかについて、その実績を把握し、今後の公立少年自然の家の普及への取組の改善・充実に資するため、「国立少年自然の家の主催事業報告書等の活用状況等に関する調査」(平成16年8月)を実施した。

○「国立少年自然の家」が発信・提供した事業報告書や指導者研修会等での事例等の情報を活用し、事業や管理運営に役立てた施設の割合

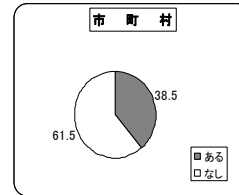
【単位%】



n(公立少年自然の家) = 140



n(都道府県・政令指定都市) = 47



n(市町村) 117

中期計画の各項目	評価項目	評価基準					評価に係る実績	評 定																																																																																															
	指 標	A	A	B	C	C		A・B C・ 評定	留 意 事 項																																																																																														
2 少年の団体宿泊訓練のための利用に供するとともに、少年の団体宿泊訓練についての指導及び助言に関する事項 ・受入れ事業 (1) 施設を、少年の健全育成を目的として学校、団体、グループなどが実施する。少年及び少年教育に携わる指導者を対象にした団体宿泊訓練のための利用に供する。 (2) 広報活動を積極的にを行い、これまで青少年教育施設を利用したことのない団体を受け入れる。 (3) 公立施設では受入れが困難な大規模(200人超)利用・長期利用(5日以上)及び新規団体の利用などにも配慮しつつ、毎年度130万人程度の利用者を受け入れる。 (4) 利用団体が利用目的を達成するために必要な指導・助言の在り方を検討し、事前の利用相談等において適切な指導・助言を行い、全利用団体の最低70%を超える利用団体が目的を達成するよう事業を行う。 (5) 少年自然の家職員に対し、指導能力向上、企画能力向上、接遇の向上など、施設内外での研修機会を与える。 (6) 利用団体の活動支援のための外部研修指導員、施設利用者に対して様々な援助を行うボランティアなどの確保及び資質・指導力向上のための研修機会を設け、利用団体のニーズに即した支援を行う。	受入れ事業の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					「受入れ事業における評価の視点」 ○年度内の目標稼働数の確保(130万人程度)○指導・助言に対する利用者の満足度(70%以上)○利用目的の達成度(70%以上) ○新規団体の利用促進と広報活動の実施状況○利用者サービスの向上と職員研修の状況○利用団体の活動を支援する人材の確保と資質向上の研修状況○利用者の視点に立った改善状況 (中期目標期間中の全国の学校利用割合<法人としての目標値>) 小学校・中学校・特殊教育諸学校:各10%以上	A	○未利用小・中学校への訪問による積極的な広報活動、メールで利用の問い合わせができるようにする等のホームページの工夫見直しを推進し、目標である130万人を上回り144.5万人を受入れたことは高く評価できます。 ○今後も、小・中学校の利用について、引き続き体験活動の重要性や少年自然の家の教育機能の理解促進に努め、利用の増加を図ることを期待します。																																																																																														
	① 年間の稼働数 ★目標:130万人程度	<table border="1"> <tr> <td>143万人以上</td> <td>130万人以上</td> <td>130万人以上</td> </tr> <tr> <td>143万人未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	143万人以上	130万人以上	130万人以上	143万人未満					★目標:130万人程度 平成16年度の稼働数は、目標である130万人程度を上回り、144.5万人であった。なお、利用団体を対象別にみると、79.8%が「小学校」「中学校」「盲・聾・養護学校」の児童・生徒及び「青少年団体・グループ」「青少年教育施設・社会教育関係団体」「家族」など、少年及び少年教育関係者である。	☆目標別稼働数・利用団体数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>稼働数</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>146,603</td><td>1,248</td></tr> <tr><td>5月</td><td>177,899</td><td>1,990</td></tr> <tr><td>6月</td><td>162,385</td><td>1,711</td></tr> <tr><td>7月</td><td>193,103</td><td>2,168</td></tr> <tr><td>8月</td><td>219,954</td><td>2,721</td></tr> <tr><td>9月</td><td>125,559</td><td>1,504</td></tr> <tr><td>10月</td><td>124,473</td><td>1,510</td></tr> <tr><td>11月</td><td>58,313</td><td>947</td></tr> <tr><td>12月</td><td>33,211</td><td>672</td></tr> <tr><td>1月</td><td>55,721</td><td>940</td></tr> <tr><td>2月</td><td>70,866</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>3月</td><td>77,517</td><td>1,208</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>1,445,604</td><td>17,651</td></tr> </tbody> </table>		稼働数	団体数	4月	146,603	1,248	5月	177,899	1,990	6月	162,385	1,711	7月	193,103	2,168	8月	219,954	2,721	9月	125,559	1,504	10月	124,473	1,510	11月	58,313	947	12月	33,211	672	1月	55,721	940	2月	70,866	1,032	3月	77,517	1,208	合 計	1,445,604	17,651	☆施設別稼働数・利用団体数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>稼働数</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>日 高</td><td>90,205</td><td>1,019</td></tr> <tr><td>花 山</td><td>92,224</td><td>1,162</td></tr> <tr><td>那須甲子</td><td>165,907</td><td>1,549</td></tr> <tr><td>信州高遠</td><td>103,705</td><td>1,217</td></tr> <tr><td>妙 高</td><td>117,626</td><td>1,380</td></tr> <tr><td>立 山</td><td>92,802</td><td>1,148</td></tr> <tr><td>若狭湾</td><td>78,737</td><td>836</td></tr> <tr><td>曾 爾</td><td>121,320</td><td>1,377</td></tr> <tr><td>吉 備</td><td>113,400</td><td>1,424</td></tr> <tr><td>山口徳地</td><td>88,312</td><td>1,595</td></tr> <tr><td>室 戸</td><td>76,556</td><td>1,149</td></tr> <tr><td>夜須高原</td><td>123,392</td><td>1,389</td></tr> <tr><td>諫 早</td><td>106,396</td><td>1,148</td></tr> <tr><td>大 隅</td><td>75,022</td><td>1,258</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>1,445,604</td><td>17,651</td></tr> </tbody> </table>	施設名	稼働数	団体数	日 高	90,205	1,019	花 山	92,224	1,162	那須甲子	165,907	1,549	信州高遠	103,705	1,217	妙 高	117,626	1,380	立 山	92,802	1,148	若狭湾	78,737	836	曾 爾	121,320	1,377	吉 備	113,400	1,424	山口徳地	88,312	1,595	室 戸	76,556	1,149	夜須高原	123,392	1,389	諫 早	106,396	1,148	大 隅	75,022	1,258	合 計	1,445,604	17,651
	143万人以上	130万人以上	130万人以上																																																																																																				
143万人未満																																																																																																							
	稼働数	団体数																																																																																																					
4月	146,603	1,248																																																																																																					
5月	177,899	1,990																																																																																																					
6月	162,385	1,711																																																																																																					
7月	193,103	2,168																																																																																																					
8月	219,954	2,721																																																																																																					
9月	125,559	1,504																																																																																																					
10月	124,473	1,510																																																																																																					
11月	58,313	947																																																																																																					
12月	33,211	672																																																																																																					
1月	55,721	940																																																																																																					
2月	70,866	1,032																																																																																																					
3月	77,517	1,208																																																																																																					
合 計	1,445,604	17,651																																																																																																					
施設名	稼働数	団体数																																																																																																					
日 高	90,205	1,019																																																																																																					
花 山	92,224	1,162																																																																																																					
那須甲子	165,907	1,549																																																																																																					
信州高遠	103,705	1,217																																																																																																					
妙 高	117,626	1,380																																																																																																					
立 山	92,802	1,148																																																																																																					
若狭湾	78,737	836																																																																																																					
曾 爾	121,320	1,377																																																																																																					
吉 備	113,400	1,424																																																																																																					
山口徳地	88,312	1,595																																																																																																					
室 戸	76,556	1,149																																																																																																					
夜須高原	123,392	1,389																																																																																																					
諫 早	106,396	1,148																																																																																																					
大 隅	75,022	1,258																																																																																																					
合 計	1,445,604	17,651																																																																																																					
② 新規利用団体受入れに対する取組状況						(1) 新規利用団体の実績 新規利用団体は、17,651団体中7,639団体であり、全利用団体の43.3%である。 (2) 利用促進を図るための取組 ・未利用小・中学校等の訪問による積極的な広報活動(11施設)・事業報告書、刊行物を作成し未利用団体に配布(9施設) (3) 広報活動充実のための取組 ・職員の直接訪問による広報・施設開放事業の実施・地域の研修会等での事例紹介や発表 ・地域のイベントへの参加による広報・市町村広報誌への記事掲載(全施設) (4) ホームページの工夫見直し ・メールで利用の問い合わせができる(全施設)・主催事業開催要項の提供(全施設)・アクセスカウンターの設置(13施設) ・宿泊状況の早期更新(13施設)・活動プログラムの紹介(13施設)																																																																																																	
③ 指導・助言に対する満足度 ★目標:70%以上	<table border="1"> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>80%未満</td> </tr> </table>	80%以上	70%以上	70%未満			80%未満	☆ 指導・助言に対する満足度 講師や指導者(ボランティアを含む)の対応や指導はどうか <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足</th> <th>とても満足</th> <th>満足</th> <th>93.1%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不満</td> <td>どちらとも言えない</td> <td>やや不満</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不満</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 回収数:5,998	満足	とても満足	満足	93.1%	不満	どちらとも言えない	やや不満	6.9%		不満																																																																																					
80%以上	70%以上	70%未満																																																																																																					
		80%未満																																																																																																					
満足	とても満足	満足	93.1%																																																																																																				
不満	どちらとも言えない	やや不満	6.9%																																																																																																				
	不満																																																																																																						

④ アンケート調査による
利用者の満足度
★目標：70%以上

80% 以上	70% 以上 80% 未満	70% 未満
-----------	------------------------	-----------

平成13年度の法人化以来、各施設とも、利用者のアンケート結果、専門家・地域住民との懇談会等の意見を踏まえ、利用者のサービスの向上や施設・設備の改善・充実のための業務運営の見直しを行っている。その結果、「生活面に対する満足度(92.4%)」「活動面に対する満足度(93.1%)」「職員に対する満足度(93.7%)」「利用目的の達成度(96.1%)」と14施設全体の平均で高い満足度が得られた。なお、各項目に対する「不満」についてはアンケートを詳細に分析し、改善に努めている。

☆生活面に対する満足度

少年自然の家の生活はいかがでしたか。		
回収数：9,058		
満足	とても満足	92.4%
	満足	
不満	どちらとも言えない	7.6%
	やや不満	
	不満	

☆活動面に対する満足度

少年自然の家の活動はいかがでしたか。		
回収数：10,628		
満足	とても満足	93.1%
	満足	
不満	どちらとも言えない	6.9%
	やや不満	
	不満	

☆職員に対する満足度

職員の対応や指導はいかがでしたか。		
回収数：9,370		
満足	とても満足	93.7%
	満足	
不満	どちらとも言えない	6.3%
	やや不満	
	不満	

☆利用目的の達成度

利用目的は達成されましたか		
回収数：9,412		
満足	十分達成できた	96.1%
	ほぼ達成できた	
不満	どちらとも言えない	3.9%
	あまり達成できなかった	
	全く達成できなかった	

⑤ 利用者サービス向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況

各施設とも「職員の資質向上を図るための研修」「接遇研修」「新任職員研修」等、利用者サービスの向上を目指した内部研修を積極的に実施した。また、外部研修においては、資質向上のための研修に職員を派遣するとともに、指導者としての専門性を高める研修への参加を積極的に行った。なお、今年度も、体系的な職員研修の一環として、職員の専門性・指導能力の向上を目指す「長期海外実践研修」に2名派遣した。

☆「内部研修」

区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)
職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施	60	773
接遇に関する研修	24	269
防災・救急法等の研修	43	772
活動プログラムの習得の研修	150	1,188
新任職員に対する研修	17	106
その他の研修	33	447
合 計	327	3,555

☆「外部研修」

区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)
施設職員としての資質向上を図る研修	76	181
自然体験活動に関する研修	20	34
社会教育に関する研修	20	45
青少年指導者の国際理解に関する研修	9	9
安全管理・健康管理に関する研修	17	23
実務研修	40	51
接遇に関する研修	3	19
合 計	185	362

☆「本部及び各少年自然の家共催による内部研修」

区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)
新任職員に対する研修	5	52
施設職員としての資質向上を図る研修	4	64
合 計	9	116

⑥ 利用団体の活動支援のための人材等の確保及び資質等向上のための研修実施状況

☆人材等の確保

法人として、体系的、一体的なボランティアの養成及びボランティア活動の推進を図るため、平成16年度から、国立少年自然の家としての共通プログラムに基づく、ボランティア養成及びボランティア専門研修を実施した。

各少年自然の家で、外部の専門的指導員・ボランティアの確保に努めるとともに、社会教育・社会体育実習生の受入れ、教職員の体験研修会等の受入れにおける実習指導等を行い、活動支援の充実を図った。

平成16年度における少年自然の家ボランティア登録者数は、764名、このうち実動者は549名である。

また、登録者数に占める実動数の割合は71.6%（昨年度63.7%）である。

☆施設別 ボランティア登録・実動者数（平成17年3月現在） ※（）内は実動者数＜内数＞

施設名	日高	花山	那須	高遠	妙高	立山	若狭	合計
人数	31 (13)	67 (40)	66 (50)	91 (52)	16 (16)	35 (29)	50 (30)	764 (549)
施設名	曾爾	吉備	徳地	室戸	夜須	諫早	大隅	
人数	46 (36)	36 (29)	84 (68)	18 (18)	63 (47)	52 (40)	109 (81)	

☆外部の専門的指導員の登録状況

施設名	日高	花山	那須	高遠	妙高	立山	若狭	合計
人数	9	13	18	105	150	13	34	504
施設名	曾爾	吉備	徳地	室戸	夜須	諫早	大隅	
人数	24	13	32	45	28	7	13	

中期計画の各項目	評価項目		評価基準					評価に係る実績	評 定																								
	指 標		A	B	C	C	A/AB/CC/評定		留 意 事 項																								
3 少年の団体宿泊訓練に関し、青年教育指導者の研修に関する事項 ・主催事業 (1) 特に専門性の高い、少年教育に携わる指導者の資質向上を目的とした、次のようなブロック規模・全国規模の研修事業や地域課題に対応した研修事業を実施する。 ア 少年団体指導者、施設職員等を対象にした研修 イ ボランティア養成研修 ウ 外部研修指導員を対象にした研修 エ 指導者の企画力や専門性等を高める研修	少年教育指導者研修の実施状況 ① 少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修の実施状況 アンケート調査による参加者の満足度 ★目標:80%以上	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	指導者研修事業の体系化に基づき、少年団体や利用団体指導者、少年自然の家職員、学校教員等を対象に下記のとおり実施した。 また、「専門性の向上」「より広域的な発信」をねらいとする研修事業として、本部と各施設共催による事業を新規に4事業実施した。 ☆ 少年教育指導者等を対象とした研修 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研 修 内 容</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①少年教育指導者を対象とした専門性の高い研修の実施</td> <td>11</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>②少年団体指導者を対象とした研修</td> <td>11</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>③教員を対象とした体験活動を促進する研修</td> <td>17</td> <td>917</td> </tr> <tr> <td>④公立施設職員を対象とした研修</td> <td>6</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>⑤ボランティアの養成事業</td> <td>16</td> <td>721</td> </tr> <tr> <td>⑥ボランティアの資質向上のための事業</td> <td>7</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>⑦外部の専門的指導員を対象とした研修</td> <td>5</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>73</td> <td>3,308</td> </tr> </tbody> </table>	研 修 内 容	事業数	参加者数	①少年教育指導者を対象とした専門性の高い研修の実施	11	582	②少年団体指導者を対象とした研修	11	501	③教員を対象とした体験活動を促進する研修	17	917	④公立施設職員を対象とした研修	6	301	⑤ボランティアの養成事業	16	721	⑥ボランティアの資質向上のための事業	7	170	⑦外部の専門的指導員を対象とした研修	5	116	合 計	73	3,308	91.1%	A	○指導者研修事業の体系化の考え方に基づき、少年教育指導者の資質や指導技術の向上をねらいとして専門的・広域的な事業の実施に努めたことは評価できません。 ○今後は、事業参加者のニーズや指導経験を踏まえた事業の実施に努めるとともに、より質の高い実践的な指導者研修事業に取組むことが期待されます。
				研 修 内 容	事業数	参加者数																											
				①少年教育指導者を対象とした専門性の高い研修の実施	11	582																											
②少年団体指導者を対象とした研修	11	501																															
③教員を対象とした体験活動を促進する研修	17	917																															
④公立施設職員を対象とした研修	6	301																															
⑤ボランティアの養成事業	16	721																															
⑥ボランティアの資質向上のための事業	7	170																															
⑦外部の専門的指導員を対象とした研修	5	116																															
合 計	73	3,308																															
② ボランティア養成研修の実施状況 アンケート調査による参加者の満足度 ★目標:80%以上	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	ボランティア活動を希望する青年にその機会と場を提供するため、少年自然の家でのボランティア活動に必要な基本的な知識と技能の習得のための実践的な研修事業を実施した。 また、本年度は、各施設共通で実施する養成プログラム及び専門研修プログラムに基づき、法人として一体的、体系的なボランティア養成及び活動の推進を図った。 ☆ ボランティア研修事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研 修 内 容</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成研修</td> <td>16</td> <td>721</td> </tr> <tr> <td>資質向上研修</td> <td>7</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23</td> <td>891</td> </tr> </tbody> </table>	研 修 内 容	事業数	参加者数	養成研修	16	721	資質向上研修	7	170	合 計	23	891	91.1%																		
研 修 内 容	事業数	参加者数																															
養成研修	16	721																															
資質向上研修	7	170																															
合 計	23	891																															
4 前項の業務に附帯する計画 (1) 施設・設備の充実 主催事業参加者や利用団体の意見やニーズを把握し、団体宿泊訓練が効果的に行われるような施設・設備の計画的充実にを図る。 (2) 広報活動の充実を図るための計画 刊行物等広報関係資料の配布など、事業の広報活動及び実施事業の成果の普及・啓発等を各施設の実状等を踏まえて効率的に行う。	附帯業務の実施状況 ① 施設・設備の計画的充実に関する取組状況 ② 広報活動の充実に関する取組状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	※「Ⅶ-1 施設・設備の整備状況」に記載 ※「Ⅱ-1 主催事業の実施事業、Ⅱ-2受入事業の実施状況」に記載																														

○財務内容の改善に関する事項

中期計画の各項目	評価項目	評価基準					評価に係る実績	評 定																
	指 標	A	A	B	C	C		A/AB/CC/評定	留 意 事 項															
Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画									※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述															
1 期間全体に係る予算 2 期間全体に係る収支計画 3 期間全体に係る資金計画	収入の確保等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。						B	○外部資金では、民間企業等に積極的な働きかけを行い、全施設と本部で協賛事業の実施に努めたことは評価できます。 ○今後も、法人全体で民間企業等へ積極的な働きかけを行い、少年自然の家の持つ教育機能の理解促進に努め、広く外部資金の確保に努めていくことを期待します。															
	①自己収入の受入状況 ★目標：100% 自己収入決算額／自己収入予算額	110%以上	100%以上	100%未満		少年自然の家における自己収入予算は、施設内の土地、建物等の賃付料、受託実習生の受入れに伴う実習料及び利用者の使用するシーツ等洗濯費用であり、また、今年度より新たに主催事業参加費（食費を除く）及び協賛金を計上した。 平成16年度自己収入予算額 112,234千円 平成16年度自己収入決算額 114,422千円 実績：101.9% (自己収入決算額114,422千円/自己収入予算額112,234千円)																		
	②外部資金の受入状況	平成16年度における外部資金の確保等の状況は下記の通りである。 <平成16年度の外部資金等の受入れ状況>																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 受託事業</td> <td>6,341千円</td> <td>8,972千円</td> </tr> <tr> <td>イ 協賛事業</td> <td>2,420千円</td> <td>16,883千円</td> </tr> <tr> <td>ウ 協賛物品</td> <td>3,514千円</td> <td>6,500千円</td> </tr> <tr> <td>外部資金計</td> <td>12,275千円</td> <td>32,355千円</td> </tr> </tbody> </table>					項 目	15年度	16年度	ア 受託事業	6,341千円	8,972千円	イ 協賛事業	2,420千円	16,883千円	ウ 協賛物品	3,514千円	6,500千円	外部資金計	12,275千円	32,355千円			
項 目	15年度	16年度																						
ア 受託事業	6,341千円	8,972千円																						
イ 協賛事業	2,420千円	16,883千円																						
ウ 協賛物品	3,514千円	6,500千円																						
外部資金計	12,275千円	32,355千円																						
Ⅳ 短期借入金の限度額								※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																
1 短期借入金の限度額 7億円 2 想定される理由 運営費交付金の受け入れの遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借入することも想定される。	短期借入金の借入状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					短期借入金の借入実績と効果 短期借入金の借入理由 など なし																	
Ⅴ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画								※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																
計画の予定なし	重要財産の処分等状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					重要な財産の譲渡等の実績 など なし																	
Ⅵ 剰余金の使途								※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																
①主催事業、受入事業の充実 ②必要な施設設備の充実	剰余金の使用等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					剰余金による事業実施実績及び効果 剰余金による事業実施理由 など なし																	

○その他業務運営に関する重要事項

中期計画の各項目	評価項目	評価基準	評価に係る実績	評 定																																		
	指 標	A' A B C C'		A'AB CC 評定	留 意 事 項																																	
VII その他主務省令で定める業務運営に関する事項					※必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述																																	
1 施設・設備に関する計画 (1) 研修・宿泊施設等の新設、改修、増設計画等防災、研修の充実、快適な食・住環境の確保の観点から、必要な施設設備の新設、改修、増設等を計画的に進める。 (2) 高齢者及び身体障害者に配慮した施設整備の推進 「高齢者及び身体障害者等が円滑に利用できる特定建築の促進に関する法律」等の基準に従い、高齢者等が円滑に施設・設備を利用できるような配慮を行う。	施設・設備の整備状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	<p>(1) 施設・設備の整備状況</p> <p>平成16年度の施設・設備の整備に当たっては、利用団体の宿泊体験活動が効果的に実施されるよう研修・活動施設の充実を図るとともに、建物の耐震補強及び食堂、給水設備等の衛生面にも配慮した整備を行い、利用者が快適に、また安心して生活・活動できるように努めた。</p> <p>(2) 防災、研修環境の改善、快適な食・住環境等の確保の観点に立った整備実績</p> <p>安全かつ快適な利用者の活動・生活環境確保のため、利用者のニーズに応えるとともに老朽化の進行防止や緊急度等をもとに計画的な整備を推進した。特に、厨房ドライシステム化による食中毒防止対策、建物の耐震診断については、年次計画をたて計画的に整備を実施している。</p> <p>[施設整備費補助金事業]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花 山</td> <td>耐震地滑り対策工事</td> <td>58,375</td> </tr> <tr> <td>高 遠</td> <td>宿泊ロッジ等防災改修</td> <td>58,003</td> </tr> <tr> <td>立 山</td> <td>暖房設備等改修(2-1)</td> <td>203,791</td> </tr> <tr> <td>吉 備</td> <td>生活関連棟バリアフリー化等改修</td> <td>102,185</td> </tr> <tr> <td>室 戸</td> <td>厨房ドライシステム化等改修</td> <td>79,849</td> </tr> <tr> <td>諫 早</td> <td>厨房ドライシステム化等改修</td> <td>105,377</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設整備費補助金事業</td> <td>607,580</td> </tr> </tbody> </table> <p>[施設整備費補助金事業](補正予算)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>若狭湾</td> <td>災害復旧</td> <td>23,117</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設整備費補助金事業</td> <td>23,117</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設整備費補助金事業(合計) 630,697</p>	施設名	事業名	事業費(千円)	花 山	耐震地滑り対策工事	58,375	高 遠	宿泊ロッジ等防災改修	58,003	立 山	暖房設備等改修(2-1)	203,791	吉 備	生活関連棟バリアフリー化等改修	102,185	室 戸	厨房ドライシステム化等改修	79,849	諫 早	厨房ドライシステム化等改修	105,377	施設整備費補助金事業		607,580	施設名	事業名	事業費(千円)	若狭湾	災害復旧	23,117	施設整備費補助金事業		23,117	B	<p>○厨房ドライシステム化及び建物耐震診断による計画的な整備に努めたことは評価できます。</p> <p>○引き続き、高齢者及び身体障害者に配慮した施設整備の推進に努めるとともに少年自然の家の教育機能を踏まえ、健康と環境に配慮して、全施設が受動喫煙防止に取組むことを望みます。</p>
施設名	事業名	事業費(千円)																																				
花 山	耐震地滑り対策工事	58,375																																				
高 遠	宿泊ロッジ等防災改修	58,003																																				
立 山	暖房設備等改修(2-1)	203,791																																				
吉 備	生活関連棟バリアフリー化等改修	102,185																																				
室 戸	厨房ドライシステム化等改修	79,849																																				
諫 早	厨房ドライシステム化等改修	105,377																																				
施設整備費補助金事業		607,580																																				
施設名	事業名	事業費(千円)																																				
若狭湾	災害復旧	23,117																																				
施設整備費補助金事業		23,117																																				
	② 高齢者等に配慮した施設の整備状況		<p>○平成16年度の施設整備の計画に除しては、多数の団体等が利用する施設としてバリアフリー化を推進し、身体障害者も健常者と一緒に安心して活動ができる環境を整備することによって、利用目的が達成できるよう配慮した。</p> <p>[身体障害者等に配慮した整備実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州高遠</td> <td>身体障害者駐車場整備</td> <td>身体障害者の駐車場整備</td> </tr> <tr> <td>立 山</td> <td>身体障害者駐車場整備</td> <td>身体障害者の駐車場整備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吉 備</td> <td>入浴用車椅子設置</td> <td>大浴場に車椅子設置</td> </tr> <tr> <td>※生活関連棟改修(再掲)</td> <td>施設のバリアフリー化浴槽改修等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜 須 高 原</td> <td>木製展望台補修</td> <td>手摺り等補強</td> </tr> <tr> <td>誘導灯取替</td> <td>ディスクバリアハウス取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">曾 爾</td> <td>障害者駐車場側溝補修</td> <td>破損補修・グレーチング設置</td> </tr> <tr> <td>非常照明外電池更新</td> <td>老朽化した電池の取替</td> </tr> <tr> <td>洗面器自動水栓取替</td> <td>トイレ洗面器の改修</td> </tr> </tbody> </table> <p>[利用者・主催事業参加者のニーズを踏まえた整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動コースの整備 ・キャンプ場野外炊飯棟のすのこの補修 ・トイレ出口にパーテーション設置 ・網戸改修 ・常設テント外幕更新 ・手洗いの設置 ・施設のバリアフリー化浴槽改修 ・階段設置 ・手摺り補強 ・屋根補修 ・誘導灯の取替 ・ボンファイアール整備 ・案内表示板整備などを行った。 	施設名	事業名	事業内容	信州高遠	身体障害者駐車場整備	身体障害者の駐車場整備	立 山	身体障害者駐車場整備	身体障害者の駐車場整備	吉 備	入浴用車椅子設置	大浴場に車椅子設置	※生活関連棟改修(再掲)	施設のバリアフリー化浴槽改修等	夜 須 高 原	木製展望台補修	手摺り等補強	誘導灯取替	ディスクバリアハウス取替	曾 爾	障害者駐車場側溝補修	破損補修・グレーチング設置	非常照明外電池更新	老朽化した電池の取替	洗面器自動水栓取替	トイレ洗面器の改修									
施設名	事業名	事業内容																																				
信州高遠	身体障害者駐車場整備	身体障害者の駐車場整備																																				
立 山	身体障害者駐車場整備	身体障害者の駐車場整備																																				
吉 備	入浴用車椅子設置	大浴場に車椅子設置																																				
	※生活関連棟改修(再掲)	施設のバリアフリー化浴槽改修等																																				
夜 須 高 原	木製展望台補修	手摺り等補強																																				
	誘導灯取替	ディスクバリアハウス取替																																				
曾 爾	障害者駐車場側溝補修	破損補修・グレーチング設置																																				
	非常照明外電池更新	老朽化した電池の取替																																				
	洗面器自動水栓取替	トイレ洗面器の改修																																				

<p>2 人事に関する計画</p> <p>(1)方針</p> <p>ア 人事サイクルを基本とした、実践的研修や専門的研修事業の活用による青少年教育施設の専門家の計画的な養成を図る。</p> <p>イ 関係機関との間で幅広く計画的な人事交流を行い、多様な人材を確保する。</p> <p>ウ 人事管理については新情報ネットワークシステムにおいて管理する。</p> <p>(2)人員に関する指標</p> <p>常勤職員について、その職員数の抑制を図る。</p>	<p>人事管理の状況</p>	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>【人事管理の状況】</p> <p>○平成16年度は、準専門職員等の年度実績の評価の実施、非常勤職員(日々雇用職員)の採用抑制等を実施するとともに、新たな人材確保のための方策として、平成17年度から新たにプロパー職員として活動インストラクターを採用することについての検討及び準備を行った。</p> <p>(1)職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施</p> <p>法人職員の計画的な養成に向け、昨年度に引き続き職域に応じた研修を企画・実施するとともに、職員の資質向上のために国立大学法人等が実施する研修に積極的に参加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>①内部研修(本部及び各少年自然の家の共催による研修)</td> <td>事業数: 9件</td> <td>参加者数: 116人</td> </tr> <tr> <td>②内部研修(各少年自然の家主催による研修)</td> <td>事業数: 327件</td> <td>参加者数: 3,555人</td> </tr> <tr> <td>③外部研修(外部の専門機関及び青少年団体等が実施する研修)</td> <td>事業数: 185件</td> <td>参加者数: 362人</td> </tr> </table> <p>(2)関係機関等との人事交流等の状況</p> <p>多様な人材を確保し、組織として安定した業務を推進していくため、従来から国や地方公共団体等と積極的な人事交流を行ってきた。</p> <p>なお、平成16年度における少年自然の家の人事交流・新規採用の状況(役員は除く)は、以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国立大学法人</th> <th>地方公共団体</th> <th>新規採用</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29名</td> <td>27名</td> <td>7名</td> <td>63名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)常勤職員数</p> <p>平成16年度の国立少年自然の家の常勤職員数は265名である。</p>	①内部研修(本部及び各少年自然の家の共催による研修)	事業数: 9件	参加者数: 116人	②内部研修(各少年自然の家主催による研修)	事業数: 327件	参加者数: 3,555人	③外部研修(外部の専門機関及び青少年団体等が実施する研修)	事業数: 185件	参加者数: 362人	国立大学法人	地方公共団体	新規採用	合計	29名	27名	7名	63名	<p>A</p> <p>○専門性の高い職員の養成と確保のため、指導系プロパー職員(準専門職員)の計画的な採用、また、受入れ事業の充実を図るため、新たに活動インストラクターの採用に向けてその準備を行ったことは評価できます。</p> <p>○今後も、一層の事業充実のため、専門性の高い職員の養成と確保に努めていくことが期待されます。</p>
①内部研修(本部及び各少年自然の家の共催による研修)	事業数: 9件	参加者数: 116人																			
②内部研修(各少年自然の家主催による研修)	事業数: 327件	参加者数: 3,555人																			
③外部研修(外部の専門機関及び青少年団体等が実施する研修)	事業数: 185件	参加者数: 362人																			
国立大学法人	地方公共団体	新規採用	合計																		
29名	27名	7名	63名																		

独立行政法人国立少年自然の家 平成16年度主催事業一覧

① 少年を対象とした主催事業

ア 少年の現代的な課題等に対応した事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
「長期自然体験活動」事業				
日高	日高山脈冒険隊 (重点事業) (継続)	日高の大自然の中で、長期の自然体験活動を通じて、自然の雄大さや厳しさを実感するとともに、たくましく「生きる力」を養い、少年に夢と希望の冒険心を育てる。	小学5年～中学3年 23/24 94.6%	8/1～14 13泊14日
花山	「ふれあい新発見冒険隊」 (重点事業) (継続)	大自然の中で、異年齢による長期間にわたる共同生活や様々な自然体験活動、冒険教育等を通じて、子ども達の豊かな人間性や社会性を育む機会とする。	小学5年～中学3年 ①30/30 85.2% ②31/30 93.5%	①7/17～18 1泊2日 ②8/1～8 7泊8日
那須 甲子	なすかし 子どもアドベンチャー (継続)	大自然の中での長期間にわたる共同生活や冒険活動を通して、子どもたちの自主性などの「生きる力」をはぐくむ。	小学5年～中学3年 31/32 90.6%	8/1～10 9泊10日
信州 高遠	長期野外生活体験 -仲間とつくる11泊12日- (継続)	初めて出会った仲間たちと自然の中で長期間自炊体験をしながら、自然観察や農作業、料理、食料保存、野外伝承遊びや生活用具作り等の具体的な生活体験をすることによって、子どもたちが生きるために必要な生活の知恵・生きる力や応用力、社会性等を習得する機会とする。	小学5年～高校生 61/42 76.7%	8/1～12 11泊12日
立山	真夏のチャレンジ 立山&富山湾 (継続)	立山連峰と富山湾を結ぶ標高差3000mの自然を舞台にした共同体験を通して、自らの心や体を鍛えるとともに、参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3年 30/30 96.3%	8/1～11 10泊11日
若狭 湾	若狭の探求～地域・人・自然から学ぶ～ (重点事業) (継続)	①漁家での宿泊体験を通して、人との関わりや働くことの意義について学ぶ。 ②海に親しむ健康でたくましい心身を育てる。 ③参加者相互が交流することにより、協力することの大切さ、素晴らしさを体感させる。	小学4年～中学3年 24/20 96.7%	8/1～8/10 9泊10日
曾爾	夢冒険真夏にチャレンジ (重点事業) (継続)	①自然の中での活動により仲間づくりを進め、連帯感を育てる。 ②様々な困難を乗り越えることにより連帯感や自尊感情を培う。	小学5年～中学生 30/30 93.4%	8/1～10 9泊10日
山口 徳地	チャレンジ大作戦 ～ひらけ冒険の扉～ (重点事業) (新規)	長期にわたる共同生活を送りながら、困難・課題を克服し達成感をもつ冒険的な自然体験活動を通して、自立心や協調性を育成する。今年度は、1回目を「挑戦キャンプ」として徳地アドベンチャー教育プログラムの手法を基に野外活動を行い、2回目を「学びのキャンプ」として活動の振り返りを行う。	小学5年～中学3年 ①36/30 ②36/30 90.9%	①8/19～28 9泊10日 ②10/30～31 1泊2日

室戸	わんぱくこども宿 (重点事業) (継続)	大自然の中でのキャンプを通し、様々な自然体験などに挑戦する中で、助け合いの心や困難に打ち克つ精神力を育み、心豊かな少年の育成を図る。	小学校高学年・中学生 53/36 91.1%	8/15～28 13泊14日
夜須高原	夜須高原 トム・ソーヤー冒険隊 (重点事業) (継続)	日常生活では体験できない冒険的な活動を行い、困難に立ち向かう勇気や挑戦する心を育成するとともに、仲間と協力する態度を養う。	小学5年～中学生 ①54/60 84.5% ②51/60 88.0% ③43/60 93.0% ④42/60 95.0%	①6/12～13 1泊2日 ②7/22～31 9泊10日 ③10/9～11 2泊3日 ④12/10～12 2泊3日
	夜須高原遊・学キャンプ (重点事業) (継続)	長期間、家庭を離れ遊びと学習を融合した様々な活動を通して総合的な学習の時間のねらいに準じる活動を行い、「生きる力」を養う。	小学5年～中学生 ①55/60 88.2% ②64/60 93.7% ③50/60 93.5%	①7/3～4 1泊2日 ②8/4～12 8泊9日 ③11/12～14 2泊3日
大隅	われは海の子 ～錦江湾ぐるり一周 ゴムボートの旅～ (継続)	錦江湾をゴムボート等で一周するアドベンチャーに異年齢で挑むことにより、体力気力づくりをしながら協調性を養うとともに、海の生物調査や水質検査等を行い、環境問題への関心を深める。また海から見た地形や錦江湾の素晴らしさを再発見する。	小学5年～高校生 ①36/36 93.1% ②36/36 93.1% ③30/36 95.6%	①7/10～11 1泊2日 ②7/31～8/7 7泊8日 ③12/4～5 1泊2日
「不登校等児童・生徒」等を対象とした事業				
日高	ふれあい交流キャンプ (継続)	不登校傾向にある児童生徒が、日高管内の特色を生かした自然体験活動を行う中で交流し、社会性や協調性、忍耐力など豊かな感性と生きる力を育成する。	不登校傾向の児童生徒 11/20 90.5%	8/2～5 3泊4日
花山	「アドベンチャースクール」 (継続)	不登校状態にある児童・生徒を対象に、自然の中での宿泊合宿をとおして仲間作りの楽しさを体験しながら、自己を見つめ、新たな可能性を見いだす機会とする。	不登校の児童・生徒 18/30 100%	10/20～22 2泊3日
妙高	心の教育セミナー ～悩める親たちのための サポートキャンプ～ (重点事業) (継続)	悩みを抱える中学生(反社会的行動、不登校、不登校傾向等)への関わり方やカウンセリングの手法についてディスカッション等を通して理解するとともに、旅型長期野外キャンプ(オープン・ザ・ドア!)の有効性について発信・普及する機会とする。	悩みを抱える中学生の保護者、教職員等 ①16/30 100% ②17/30 100% ③18/30 100% ④51/50 100%	①7/11 日帰り ②8/7～8 ③8/27～28 ④10/2～3 各1泊2日
	はつらつ体験塾 (継続)	新潟県教育委員会と連携し、自然体験や共同宿泊体験を通して、仲間とのふれあいを体感させ、心理的安定ができる雰囲気づくりに努めるとともに、不登校児童・生徒やその保護者との面談を通して不安や悩みの解消を図る。	不登校・不登校傾向の児童・生徒及びその保護者 ①25/30 96.0% ②16/30 87.5%	①10/2～3 1泊2日 ②11/4～7 3泊4日
	オープン・ザ・ドア! ～太平洋から日本海へ～ (悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業) (重点事業) (継続)	悩みを抱える青少年(反社会的行動、不登校・不登校傾向対象)に長期に渡る生活体験・冒険活動に取り組みせると共に、マウンテンバイクやカヤック等による長距離の旅で、圧倒的な達成感を与えることによって、自己の生活を振り返らせ、社会性や自信の回復、自立心を育てる。	悩みを抱える中学生及び保護者、学校関係者 ①10/15 100% ②8/15 100% ③4/15 100%	①8/7～28 21泊22日 ②10/2～3 1泊2日 ③1/7～9 2泊3日

若狭 湾	大自然はみんなの友だち (継続)	①不登校傾向にある児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、協調的な行動ができるようになる。 ②参加者相互の交流を図る。	不登校傾向にある小・中学校児童生徒、保護者、学校関係者 18/20 87.0%	10/9～10 1泊2日
吉備	悩みを抱える中学生の体験活動事業 (継続)	悩みを抱える子どもたちが、様々な自然体験活動を通して生きる力を育むための事業を行うとともに、少年自然の家が取り組むべき現代的な課題について実践的な調査研究を行うための試行的な事業とする。	悩みを抱える中学生 ①26/20 ②23/20 ③21/20 ④22/20 ⑤23/20 ⑥26/20⑦20/20 80.1%	①1/13 ②1/20 ③2/3 ④2/10 ⑤2/17 ⑥2/24 ⑦3/2
「障害児(者)を対象とし、ノーマライゼーション等」を目的とした事業				
日高	わくわくキャンプ インひだか (重点事業) (継続)	小中学校と養護学校に通う児童生徒が、自然の家で自然体験活動や共同生活をしながら交流し、相互理解を図る。	小中学校と養護学校の児童生徒 49/30 90.6%	7/28～30 2泊3日
那須 甲子	スノーライゼーション ふれあい雪ん子親子ミーティング (継続)	障害のある小・中学生の子どもたちとその保護者に、冬の自然とふれあう機会を提供するとともに、それらの活動を通して障害のない小・中学生の子どもたちとその保護者との交流を深める。	障害のある小・中学生とその保護者及び障害のない小・中学生とその保護者 131/120 94.7%	1/8～10 2泊3日
信州 高遠	みんな友だち —土と人— (継続)	心身に障害のある子どもをもつ家族とそうでない家族とが互いに協力しながら、農作業・ハイキング・創作活動などを通して、土とふれあう楽しさ、自然の中で汗を流す心地よさやものをつくる喜びを味わい、豊かな心を育てる。また、相互の立場を理解しあい、共に生きる心を育む機会とする。	心身に障害のある子どもをもつ家族やそうでない家族 ①29/30 100% ②42/30 100%	①6/5～6 1泊2日 ②9/19～20 1泊2日
吉備	キャンプ hand in hand 「脳科学と教育」と自然体験 (新規)	ADHD、LD、AS児を対象に、脳の活動を促進させるような体験活動を行うことにより、子どもたちの他人への接し方や物事の取り組み方などといった、コミュニケーション能力を高める。	ADHD・LD・AS児とその親 20/20 89.5%	9/17～19 2泊3日
	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会 (継続)	福祉優先の都市づくりを目指す吉備高原の自然の中で、障害のある者もない者も共に参加・競走し、相互の交流を深めるとともに健康や体力の保持増進と自立意欲の向上を図り、地域との連携を深める。	車いすランナーと健常者ランナー 1483/250 80.6% 内訳 宿泊 358 日帰り 1125	10/9～10 1泊2日
山口 徳地	ハート&ハートキャンプ (重点事業) (継続)	自然の中で学校や家庭では味わえない体験をすることにより、自然の素晴らしさを体感するとともに参加者の交流を図る機会とする。 1回目に緊張を解くための日帰りキャンプを行い、2回目につなげる。 また、障害のある子どものための自然体験活動プログラムを活動支援のあり方を含めて開発する。	小・中学生、障害のある小・中学生とその家族及び特別支援教育に関心のある者 ①35/30 ②35/30 93.9%	①10/9 日帰り ②10/23～24 1泊2日
室戸	みんなあつまれ！ なかよしキャンプ (新規)	自然体験活動を通して障害を持つ児童と健常児の交流を図ることによって、お互いに協力し合い尊重し合える関係を築くとともに、共生社会への理解を促す。	小学5年～中学生 18/30 88.9%	2/26～27 1泊2日

夜須高原	夜須高原 ・いきいきキャンプ (重点事業) (継続)	野外活動に接する機会の少ない児童・生徒に学校や家庭とは異なった開放的な環境の中で多様な楽しい体験活動の機会や学びの場を提供し、生活能力や人間関係能力を培い共生社会への理解を促す。	障害のある児童・生徒とその家族 ①40/40 90.3% ②40/40 100% ③43/40 98.0% ④41/40 100%	①6/7～8 1泊2日 ②8/17～21 4泊5日 ③10/9～11 ④12/17～19 各2泊3日
諫早	「にこにこキャンプ」 (重点事業) (継続)	少年自然の家と養護学校が連携を図りながら、医療・福祉などの機関からの助言を参考に、養護学校の「野外宿泊体験学習」のプログラムや指導法について研究開発し、その成果を広く普及する。	知的障害のある児童生徒が通う養護学校長崎県立虹の原養護学校中等部 24/24 未実施	9/15～17 2泊3日
大隅	チャレンジ・ザ・キャンプ (重点事業) (継続)	下肢に障害のある児童・生徒にキャンプ等の野外活動や自然体験活動をさせることにより、野外活動の楽しさを理解するとともに自主性を伸張し、活動範囲を広げる機会とする。	下肢に障害のある児童・生徒 28/30 88.2% (9/10家族)	8/27～28 1泊2日 ※台風接近のため日程短縮
「環境教育・環境学習」に対応した事業				
日高	森の少年保安官 (継続)	少年自然の家に隣接する豊かな国有林を活用した森での林業体験活動を通して、森林の働きと自然環境の豊かな恵みを肌で感じさせるとともに、自然環境保護の精神を育てる。	青少年団体 ①24/24 83.3% ②11/11 96.2% ③18/18 94.1%	①7/10～11 ②7/20～21 ③9/18～19 各1泊2日
花山	水辺探検隊 ①川面から春を感じよう ②沢登りを楽しもう ③冬の野鳥を観察しよう (重点事業) (新規)	子ども達が水辺で、互いに交流する活動を通して、自然への感謝と環境を守る豊かな心を育む機会とする。	小学4年～6年 ①42/30 85.0% ②34/30 85.3% ③32/30 93.1%	①5/8～9 1泊2日 ②8/19～21 2泊3日 ③12/11～12 1泊2日
室戸	日本版 Water Wise ①＜海の世界教育編＞ ②＜海の世界自然編＞ ③＜海の世界スポーツ編＞ ④＜海の世界生活文化編＞ (継続)	①世界一斉の「海岸クリーンアップ」を室戸でも開催し、室戸の海岸漂着物の現状を調査し、環境に対する関心を高める。 ②海水を採集してプランクトンなど海の生物を観察するとともに、潮流の観測を行い、海についての関心や理解を高める。 ③オーシャンカヤック・ヨット・シュノーケリング等の海洋活動を通して、海との安全な接し方を学び、海への夢や冒険心を育む。 ④漁港や大敷き網漁の見学を行い、地元の人から魚料理を学ぶなど、海に生きてきた人々の文化に触れることによって、豊かな人間性を育む	小学校高学年～中学生 ①33/40 91.4% ②36/40 83.2% ③31/40 85.6% ④29/40 83.4%	①5/22～23 1泊2日 ②6/19～20 1泊2日 ③7/17～19 2泊3日 ④9/11～12 1泊2日
大隅	われら地球探検隊 I われら地球探検隊 II (新規)	自然環境に関する現状や知識を把握・理解するとともに、身近な自然を守ろうとする態度や意欲を育てる。	小学4年～中学生 ①37/40 94.4% ②30/40 91.0%	①1/29～30 ②2/26～27 各1泊2日

「国際理解・国際交流」を深める事業				
日高	地球ファミリー大集合 (継続)	外国人の子どもとその家族が集い、日本の伝統芸能を鑑賞し、日高の祭りの体験などを通して、日本の文化や生活への理解を深めるとともに参加者同士の国際交流を図る。	外国人の子どもとその家族 157/150 89.6%	7/24～25 1泊2日
大隅	ハローキッズ (新規)	外国の方と野外活動をしながら、野外活動等の楽しさを味わうとともに、日本と外国の文化や生活の違いについて知る機会とする。	小学4年～中学生 43/40 90.8%	2/11～13 2泊3日
「科学する心」をはぐくむ事業				
立山	宇宙の神秘 「スペースクラブ 童夢2004」 (継続)	星座観察、天体写真撮影、月や太陽・惑星の観察など年間を通して行う。 宇宙に関する継続した学習機会を提供することで、科学離れしがちな子供たちに、宇宙や自然に対する興味・関心を培うとともに科学する心を育てる。	小学5年～中学3年 ①29/30 91.9% ②22/30 90.4% ③27/30 91.8%	①5/1～4 3泊4日 ②9/18～20 2泊3日 ③12/26～27 1泊2日
吉備	君も宇宙博士 スペースキッズ (継続)	「晴れの国岡山」と「光害」の影響が少ない吉備の夜空の特性を生かし、宇宙のすばらしさと不思議を観察や学習を通して、より身近な宇宙を体験する。また、クラブのメンバーとし、年間を通して吉備の天体を観察することにより、宇宙の達人を育成する。	小学校高学年 ①27/20 92.6% ②22/20 97.7%	①10/16～17 ②11/20～21 各1泊2日
山口 徳地	スペースアドベンチャー ～TOKUJI宇宙クラブ～ (重点事業) (新規)	所が有する高性能の天体望遠鏡を活用した天体観察を中心に、手作り天体望遠鏡の作成や天体写真の撮影・現像、科学施設の見学など通年にわたる継続した学習活動を通して、自然を科学的に調べる能力を育成するとともに、科学に対する興味・関心を高める。	小学4年～中学3年 ①33/30 ②24/30 ③21/30 ④25/30 97.4%	①5/15～16 ②7/17～18 ③10/23～24 ④12/4～5 各1泊2日
室戸	子ども自然科学教室 (継続)	室戸岬周辺の動・植物観察などの自然体験を通して、自然への理解や関心を深めるとともに自然保護の心を培う。	小学校高学年～中学生 8/40 93.0%	11/13～14 1泊2日
大隅	子ども科学探検隊 (新規)	様々な実験や観察をしながら、科学への興味関心を深めるとともに、参加者同士の親睦と交流を図る。	小学4年～6年 38/40 96.2%	11/6～7 1泊2日
「異文化理解・交流」を深める事業				
日高	日本列島ともだちの輪 in 日高(北海道)～立山(富山県) (継続)	異なる地域の子どもたちが交流し、広い視野と豊かな心を育むとともに、郷土に対する理解を高める。	小学5年～中学2年 ①日高 12/20 95.3% ②立山 12/20 92.6%	①日高研修 7/26～30 4泊5日 ②立山研修 1/5～9 4泊5日
立山	日本列島ともだちの輪 in 立山(富山県)～ 日高(北海道) (継続)	異なる地域の子どもたちが、相互に訪れ交流し、生活様式や自然環境などの違いを体験するとともに、友だちの輪を広げ、自分の故郷を見直す機会とする。	小学5年～中学2年 ①日高 20/20 92.8% ②立山 18/20 90.8%	①日高研修 7/25～30 5泊6日 ②立山研修 1/5～9 4泊5日

山口 徳地	日本列島ともだちの輪 in 室戸 (継続)	異なる地域の子どもたちが相互に訪れ交流し、生活様式や自然環境の違いを体験するとともに、友達の輪を広げて、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。	小学5年～中学3年 30/30 100%	8/8～12 4泊5日
室戸	日本列島ともだちの輪 in 室戸 (継続)	異なる地域の子どもたちが相互に訪れ交流し、生活様式や自然環境の違いを体験するとともに、ともだちの輪を広げて、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。	小学校高学年～中 学3年生 33/30 96.6%	8/8～12 4泊5日
大隅	日本列島ともだちの輪 in 室戸 (継続)	異なる地域の子どもたちが自然体験活動を通して交流し、お互いの地域の歴史や風土、自然環境などを体験することにより交流の輪を広げ自分の郷土を見直す機会とする。	小学5年～中学生 30/30 91.3%	8/7～13 6泊7日

イ 各少年自然の家の特色・立地条件等を活かした事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
信州 高遠	行こう!雲上の世界へ ー八ヶ岳(赤岳)2,899m への挑戦ー (継続)	八ヶ岳(赤岳)登山を通して、冒険心や忍耐力等、精神力の向上を図り、達成した喜びを味わうとともに自然の雄大さや美しさを感じとる心を養う。	小学5年～中学3年 24/30 90.0%	7/27～29 2泊3日
	農作業体験 ー親子で春 は田植え 秋 は稲刈りをしようー (継続)	共に過ごす時間をなかなかもてなくなった親子が、自然の中で田植えや稲刈りなどの農作業体験を通して、親子の絆を深めるとともに、奉仕する心や勤労を尊ぶ心を育てる。また、共同作業を通して、子どもたちに誰とでも協力し合う思いやりの心を育てる。	小・中学生を含む家族 ①52/40 子ども 100% 大人 100% ②43/40 子ども 90.9% 大人 100%	①5/22～23 ②9/25～26 各1泊2日
	第3回高遠そりすべり小中 学生全国大会 ー自己への挑戦ー (継続)	冬の代表的なそり遊びを通して、子どもたちの体力・精神力の向上を促し、遊びの楽しさを知るとともに、親子の絆を深めるためにスピード競技全国大会(小・中・家族)を開催する。	小・中学生を含む家族 579/300 子ども 95.2% 大人 95.5%内 訳 宿泊 432 日帰り 147	2/5～6 1泊2日
妙高	ジュニアリーダーサミット 2004 (継続)	妙高アドベンチャー、リーダーサミット、意見交換等を通して、仲間との交流及びリーダーとしての資質を高め、学校内外でリーダーシップを発揮できるようにする。また、学校教育との連携・融合を図る。	新井頸南地区中学生 41/36 97.3%	12/22～24 2泊3日
立山	真冬のチャレンジ・キャン プ (継続)	立山山麓の厳冬の中でのキャンプ生活体験やかんじき登山などの雪上活動を通して自ら心と体を鍛えるとともに参加者相互の交流を深める。	小学4年～中学3年 36/30 89.2%	2/11～13 2泊3日
若狭 湾	少年少女リーダーサミット (新規)	各校児童会・生徒会の取組みに対する意見交換や討論・交流を通して、リーダーとしての資質を高めるとともに、得られた成果を今後の児童会・生徒会活動に生かす。	小・中学校の児童 会・生徒会の役員 80/30 84.6%	5/7～8 1泊2日
	漁家体験シリーズ ～食文化の伝承～ 第1回 へしこ作り 第2回 なれずし作り 第3回 わかめ収穫体験 (新規)	若狭地域の伝統的なへしこ作り、なれずし作り、わかめ収穫体験を通して、食文化についての理解を深めるとともに、漁家の人々との交流を図る。	小学生～中学生の 親子 ①22/50 92.0% ②49/50 89.8% ③27/50 82.7%	①5/15～16 ②11/6～7 ③2/26～27 各1泊2日
	北前船航路体験 ～若狭から越後への旅～ (重点事業) (新規)	①江戸時代より伝わる北前船航路をたどることにより、先人の苦労や地域の歴史について学ぶ ②越後の子どもたちと交流の場を設けることで、互いの文化を理解し合う	小学4年～中学生 26/25 91.4%	8/22～27 5泊6日
	若狭を知ろう ～歴史と自然～ (新規)	①若狭地域の歴史・文化などを知り、地域のすばらしさに気づく ②海の体験活動を通し、海のすばらしさや環境について学ぶ	小学4年～中学生 16/60 92.0%	9/4～5 1泊2日
曽爾	ソニ・ウインター・ワンダー ランド (継続)	冬の厳しい自然環境の中でさまざまな体験活動を行い、自然に対する探求心や忍耐力を養う。	小学5年～中学生 36/30 88.9%	2/11～13 2泊3日

吉備	歴史・文化への誘い 『吉備路伝説を探ろう』 (新規)	のどかな田園風景にたたずむ、大和・北九州と並んで栄えた古代吉備王国の史跡や古墳をサイクリングや徒歩で巡りながら、郷土の歴史や文化、言い伝えを再発見する。また、学習した内容をグループでまとめ発表するなど表現活動の場も設定する。	小学5年～中学2年生 27/24 92.6%	8/23～27 4泊5日
	元気もりもり！ もりもりクラブ (重点事業) (新規)	生涯を健康で楽しいものとするために欠かすことのできない「食生活」の大切さについて豊かな自然の中での活動を通して考える。	小学校高学年 ①33/30 90.9% ②36/30 83.3%	①6/19～20 ②7/3～4 各1泊2日
	スノーキャンプ in 鏡ヶ成 (新規)	真冬の積雪の多い自然環境の中で、雪上での様々な自然体験活動を行うことにより、冬季の野外活動の楽しさ、自然の雄大さにふれさせるとともに、共同生活を通して、自主性、協調性、忍耐力を培い、心豊かな子どもの育成を図る。	小学5年～中学3年生 20/20 100%	2/10～13 3泊4日
室戸	日本版ウォーターワイズ ～ヨットステップアップ 編～ (継続)	ヨットのより高度な技術や知識を海洋体験を通じて身に付けることにより、海に対する理解を確かなものとするとともに、的確な判断力や自主性を養う。	小学校高学年～中学生 ①14/20 94.9% ②10/20 94.4% ③7/20 99.4%	①9/4～5 1泊2日 ②9/18～20 2泊3日 ③10/16～17 1泊2日
	黒潮の自然と文化を学ぶ (継続)	室戸の海で働いてきた人々や室戸の海や水産業に造詣が深い人々に話を聞いたり、実際に海洋体験をしたり水産業を見学・体験することにより、黒潮がもたらした自然や古くから受け継がれてきた海に関わる文化や産業を学び、郷土を愛する心を育てるとともに海への関心を一層深める。	小学校高学年 ①39/40 88.4% ②35/40 88.4% ③36/40 91.1%	①5/8～9 ②6/12～13 ③7/10～11 各1泊2日
	ファミリーキャンプin室戸 (継続)	ファミリーキャンプにおけるプログラム方法及び安全管理や、ルールやマナーの理解を深める。	家族・グループ ①66/40 90.3% ②31/40 91.7%	①5/1～3 ②10/9～11 各2泊3日
	イルカ・ポニーと遊ぼう！ (新規)	麻布大学・中京大学と連携し、研究用に飼育しているイルカと触れあうことにより心のケアを図る。	小学生・中学生 5/4 90.0%	2/26～27 1泊2日
	自然の家ジュニアクラブ (重点事業) (新規)	自然の家の様々な自然体験プログラムを体験したり、自分たちで新たなプログラムを開発・体験したり、ボランティアリーダーと交流することにより、子どもたちの成長の一助にするとともに将来の地域の野外活動のリーダーを育成する。	小学生・中学生 ①36/20 94.9% ②29/20 95.7% ③28/20 94.0% ④29/20 95.2% ⑤19/20 90.0% ⑥24/20 88.8% ⑦19/20 93.3% ⑧22/20 93.6% ⑨21/20 92.0% ⑩23/20 93.1%	①4/24～25 ②5/29～30 ③6/26～27 ④7/3～4 ⑤9/25～26 ⑥10/23～24 ⑦11/27～28 各1泊2日 ⑧12/25～27 ⑨2/11～13 各2泊3日 ⑩3/25～30 4泊5日
諫早	野外料理コンテスト・あつまれ名コックさん (新規)	地元企業と共催し、小中学生を対象に楽しい野外活動(野外料理コンテスト)を実施する。	小中学生 79/100 86.1%	2/11 日帰り
大隅	高隈連山縦走自然の旅 (継続)	野営生活をしながらか冬の高隈連山縦走に挑戦し、自然の厳しさや偉大さを体得するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。	中学生～高校生 25/30 92.6%	12/25～28 3泊4日

	<p>夏だ！海にチャレンジ！ (重点事業) (継続)</p>	<p>自然豊かな錦江湾で、ゴムボートやカヌー等の様々な海での自然体験活動やキャンプ等の野外活動を通して、海浜活動の基本的な知識や技能の習得を図るとともに、心身のリフレッシュを図り、協力・助け合いの心を培う。</p>	<p>小学4年～中学生 47/50 92.6%</p>	<p>7/21～23 2泊3日</p>
	<p>わんぱくキッズ大集合 (継続)</p>	<p>当所のふれあい広場を中心に、高齢者を招待して伝承遊びをしたり昔の話を聞いたりして、高齢者とのふれあいを図るとともにいろいろな野外活動を通して参加者同士の交流を図る。</p>	<p>小学4年～中学生 43/40 96.4%</p>	<p>10/9～11 2泊3日</p>

ウ 小学校低学年を対象とした事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	「はなやまおとまりかい」 第1回「みどりいっぱい はなやまを知る」 第2回「はっぱはっぱ」は なやまの秋探し (新規)	小学校1～3年生の子ども達に、花山の自然とのふれあいを通して、豊かな森の恵みを体験させるとともに共同生活や交流を行うことで、自立心や冒険心を育む。また、その成果を小学校低学年の受入れ事業に生かす。	小学1年～3年 第1回子ども 29/30 85.2% 保護者 27/30 100% 第2回子ども 23/30 87.0%	①6/5～6 1泊2日 ②10/2～3 1泊2日
立山	森の冒険王わんぱくキッズ の大冒険 (重点事業) (新規)	小学校の低学年が、立山山麓の自然の中で、自然体験、共同生活体験を通して、たくましい心と体を培い、生きる力を育てる。	小学1年～3年 32/32 87.5%	8/22～25 3泊4日
若狭 湾	キッズキャンプ (新規)	低学年の児童に自然体験活動や生活体験活動の場を提供し、自主自立の精神を養う。	小学1年～3年 23/20 99.5%	7/25～27 2泊3日
曽爾	曽爾レンジャークラブ (重点事業) (新規)	四季を通じて活動することで、自然の面白さや不思議さに気づく感性を育む。小学校低学年向きの新規プログラムの開発を図り、受入事業にもフィードバックできるようにする。	小学1年～3年 ①25/25 91.3% ②24/25 87.5% ③24/25 91.7% ④25/25 96.0%	①5/29～30 ②7/24～25 ③11/6～7 ④1/29～30 各1泊2日
	ちびっ子冒険クラブ (継続)	曽爾の自然の中での活動を通して、自然との関わり方、自立の心、思いやりの心等を身に付ける。	小学1年～4年 70/70 95.7%	8/22～24 2泊3日
吉備	きびの森のふしぎを探検してみよう (重点事業) (新規)	吉備の森を探検しながら、活動している命と眠っている命を観察し、自然の仕組みや不思議にふれるとともに自ら自然を探究していこうとする意欲を培う。	小学1年～2年 ①31/24 100% ②30/24 100%	①8/18～19 ②12/18～19 各1泊2日
山口 徳地	ちびっこ わくわくキャンプ (重点事業) (新規)	自然の美しさや不思議に気づき感動する自然体験や自立につながる生活体験を通して、豊かな心をはぐくむ機会とする。 また、今年度は1回目「出会い」、2回目「挑戦」、3回目「広がり」、4回目「巣立ち」と年間を通してテーマを設定し、支援・指導方法含めた低学年児童のための体験活動プログラムとするための調査研究方法の方向性を探る。	小学1年～3年 ①42/30 ②42/30 ③42/30 ④42/30 96.9%	①5/22～23 1泊2日 ②8/6～8 2泊3日 ③11/13～14 1泊2日 ④1/21～22 1泊2日
室戸	キッズデー (新規)	少年自然の家の豊かな自然に触れたり、日頃体験できない活動をする事によってたくましく生きる子どもたちの育成を図る。	未就学児・小学1～2年 ①80/80 94.7% ②76/80 90.8% ③38/80 92.0% ④65/80 93.2%	①12/19 ②1/23 ③2/13 ④3/20 日帰り
大隅	スプリングキャンプ オータムキャンプ (継続)	キャンプやハイキング等の野外活動を行う中で、心身のたくましさと豊かな心を養うとともに、親子の絆を深めたり、参加者相互の交流を図る。	幼児～小学3年を含む家族 ①68/75 85.3% (20/25 家族) ②87/75 89.6% (25/25 家族)	①4/24～25 1泊2日 ②10/23～24 1泊2日
	親子科学教室 (継続)	親子で科学に関する活動を体験する中で、科学することへの興味関心を深めながら、親子の絆を深めたり、参加者相互の交流を図る。	小学生(1～3年)その家族 62/60 88.8% (20/20 家族)	5/29～30 1泊2日

エ 学校との密接な連携による事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	少年環境調査隊 (継続)	少年自然の家の施設や周辺の自然環境の中で、自然体験活動や環境学習を行い、自然や環境に対する関心を高め、より理解し、自ら実践していく態度や能力を育成する。	小学3～6年生 ①日高小3年 140/140 97.2% ②日高小4年 112/112 96.4% ③日高小5年 160/160 96.5% ④日高小6年 150/150 70.0% ⑤振内小学校 322/322 88.4% ⑥振内小学校 336/336 91.4%	6月～10月 ①年7回 ②年7回 ③年10回 ④年10回 ⑤年14回 ⑥年14回
	通学合宿ひだかSUN太 スクール (新規)	地域の小・中学生が少年自然の家での通学合宿を通じて、自主性、社会性、郷土愛を育てる。	①日高小 4年～6年 21/21 ②日高 1年～3年 2/2 97.3%	11/14～20 6泊7日
花山	学校移動事業 (継続)	学習の場を学校から本少年自然の家に移し、教科学習、総合的な学習の時間、集団宿泊活動等を行い、学習効果を高めるとともに、よりよい人間関係を育む。	小・中学生 ①花山小 6/6 100% ②花山小 6/6 100% ③花山中 31/31 90.3%	①6/10 ②7/2 ③2/16
信州 高遠	信州高遠生活学校 -生活体験学習- (重点事業) (新規)	小学校4、5、6年生の学校教育をクラス単位で少年自然の家へ移動して、学校・地域社会・家庭を兼ねた場所とし、5～6日間、教科学習と体験的学習活動(体験活動)をする。日常の家庭生活と異なる共同生活体験を通して、心身の発達を促し、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、仲間と共に助け合って生活することの楽しさ・難しさに気づかせ、人間性や社会性を豊かに培わせる。	小学校2校 ①長谷小 18/18 子ども 93.8% 大人 100% ②伊那東小 33/33 子ども 96.9% 大人 100%	①6/28～7/2 4泊5日 ②9/29～10/3 4泊5日
妙高	自然の中で「総合」ワンダ ーアース ～総合的な学習支援開発 事業～ (継続)	「総合的な学習の時間」の受入れを充実させるため、子どもたちの活動を支援する総合的な学習支援委員会を組織し、プログラムの開発と学校への発信及び支援を行う。 実践協力校の職員と専門職員及びボランティア指導者がチームティーチングで、総合的な学習の時間の授業実践を行いプログラムの改善・充実を図る。	小学校・中学校 212/212 100% 3校/3校	通年
	妙高フレンドスクール ～仲間と一緒に～ (継続)	地元の中核施設として、教育委員会、学校、PTA連絡協議会と連携し、通学キャンプを行う。共同宿泊生活や交流活動を通して、コミュニケーション能力を育成するとともに、親子が互いに家族のこを見つめ直し、自立心を養う機会とする。	妙高村立小学6年 ①関山小学校 34/34 ②原通小学校 7/7 ③大鹿小学校 4/4 95.5%	11/7～14 7泊8日

立山	豊かな森からの発信！ こちら立山エコセンター (重点事業) (継続)	自然体験・環境学習を通して、子どもたちの「生きる力」を培うために小中学校と連携協力し、所周辺の自然とエコスクール館を活用した「総合的な学習の時間」「生活科」を推進する。	小学校・中学校 931名 ①立山小学校 22/22 ②釜ヶ淵小学校 31/31 ③高野小学校 20/20 ④日中上野小 9/9 ⑤新瀬戸小学校 5/5 ⑥堀川南小学校 350/350 ⑦水橋中部小 30/30 ⑧上滝小学校 85/85 ⑨滑川南部小 45/45 ⑩大泉中学校 73/73 ⑪雄山中学校 261/261 未実施	通年 ①10回 ②6回 ③9回 ④5回 ⑤9回 ⑥8回 ⑦5回 ⑧8回 ⑨5回 ⑩8回 ⑪4回
若狭湾	ふれあい合宿通学 (継続)	少年自然の家に宿泊しながら通学し、集団生活を通して基本的な生活習慣や自主性・社会性を養う。	福井県上中町内 小学校6年生 ①瓜生小学校 35/35 ②熊川小学校 10/10 ③野木小学校 17/17 85.3%	11/29～12/3 4泊5日
曽爾	「総合的な学習の時間」 を自然の中で (継続)	環境教育の基本である「自然に親しむ」ことに重点を置き、「総合的な学習の時間」を曽爾の自然とプログラムを使って展開し、学社融合のあり方を探る。	小学校 137/137 85.4%	10/13～15 2泊3日
室戸	日本版スクールウォーター ワイズ (継続)	「海」の自然体験活動を通して、海に親しみ、海からの恩恵を学び、海について理解を深め、海についての環境問題を考えると共に海での基本的な安全知識(危険回避)を身につける。	小学校 ①新玉小学校 96/96 ②楠目小学校 41/41 ③余土小学校 146/146 ④枝川小学校 58/58 満足度未実施	①9/5～8 ②9/14～17 ③9/28～10/1 ④10/26～29 各3泊4日
室戸	ふれあい通学合宿 (継続)	家庭を離れ、集団での宿泊を伴う生活を行い自主性・社会性を育む。	地元小学校 4・5・6 年生 ①室戸小学校 32/32 ②室戸岬小学校 7/7 ③元小学校 12/12 89.8%	11/7～14 7泊8日

夜須高原	夜須高原「通学キャンプ」 (重点事業) (継続)	夜須町内3小学校の児童で、共同生活をしながら通学をすることにより、人間関係能力、自立心、基本的な生活習慣等を育成する。	夜須町立3小学校 6年 ①三並小学校 17/17 ②中牟田小学校 33/33 ③東小田小学校 43/43 98.8%	11/21～28 7泊8日
諫早	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発普及事業①「小学校プログラム開発」 (重点事業) (継続)	平成14・15年度にかけて実施した共同研究開発事業の成果を広く学校に普及するため、少年自然の家を活用した小学校における「総合的な学習の時間」のプログラムを開発する。	小学校 ①愛野小学校 60/60 ②聖マリア小学校 31/31 ③精道小学校 58/58 ④諫早小学校 98/98 ⑤長田小学校 81/81 ⑥西北小学校 100/100 88.3%	①6/1～2 1泊2日 ②6/3～5 2泊3日 ③9/9～10 1泊2日 ④9/15～16 1泊2日 ⑤9/30～10/1 1泊2日 ⑥10/13～14 1泊2日
	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発普及事業②「小学校授業展開研究」 (重点事業) (継続)	平成14・15年度にかけて実施した共同研究開発事業の成果を広く学校に普及するため、小学校における「総合的な学習の時間」の授業展開の方策を実践的に研究する。	小学校 ①北諫早小学校 123/123 ②御館山小学校 105/105 ③脇岬小学校 17/17 ④土黒小学校 42/42 83.8%	①5/25～27 2泊3日 ②9/15～17 2泊3日 ③9/8～9 1泊2日 ④10/28～29 1泊2日
	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発普及事業③「中学校プログラム開発」 (重点事業) (継続)	平成14・15年度にかけて実施した共同研究開発事業の成果を広く学校に普及するため、少年自然の家を活用した中学校における「総合的な学習の時間」のプログラムを開発する。	中学校 ①鹿島東部中学校 111/111 ②島原第二中学校 130/130 ③国見中学校 136/136 ④東長崎中学校 255/255 92.5%	①5/12～14 2泊3日 ②9/28～30 2泊3日 ③10/6～8 2泊3日 ④11/10～11 1泊2日
	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発普及事業④「中学校授業展開研究」 (重点事業) (継続)	平成14・15年度にかけて実施した共同研究開発事業の成果を広く学校に普及するため、中学校における「総合的な学習の時間」の授業展開の方策を実践的に研究する。	中学校 ○萱瀬中学校 83/83 98.0%	4/26～27 1泊2日

オ その他少年の健全育成を図るための事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
信州高遠	信州高遠 22kmかち歩き大会 ー自己発見の 徒歩旅行ー (継続)	子どもから成人までの異年齢集団で22kmを飲まない・食べないで、お互いに励まし合ったり、競い合ったりしながら、飢えや乾きを体験し、同じ条件で歩き通すことによって、子どもたちが忍耐力や体力、集中力、社会性などを培う機会とする。	12歳以上・12歳未満(保護者同伴) 338/200 子ども 82.1% 大人 89.2% 内訳 宿泊 191 日帰り 147	11/28
若狭湾	郷土の先輩からのメッセージ (継続)	中学生の部活動に対する意欲の向上を図り、将来の夢をふくらませる。	中学生 155/120 81.4%	10/2～3 1泊2日
室戸	冬に鍛える 三四郎のつどい (継続)	四国四県の子どもたちが柔道を通して交流を深めるとともに、各地区での学校外活動への参加意欲を一層高める。	小学生とその引率者・家族 195/200 89.9%	11/21～22 1泊2日

カ 保護者を対象とした事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
那須甲子	楽々母子のフィールドパーティー (新規)	お母さんと子どもと一緒に自然の中で楽しみ、親子の絆を深める機会を提供する。また、参加者同士の親睦を深め、子育てについて情報交換を行う。	母子家庭児童及び保護者 ①37/50 92.9% ②31/50 88.8%	①6/12～13 ②9/25～26 各1泊2日
若狭湾	若狭の海で親子シーカヤック体験 (新規)	シーカヤックに親子で乗ることでコミュニケーションを図り、さらに若狭湾の自然を満喫することで海の活動の楽しさに触れる。	小学4年～中学生の親子ペア 19/20 92.5%	9/11～12 1泊2日
諫早	子どものコミュニケーションに関する総合事業③ 家庭教育「親塾」 (重点事業) (継続)	家族が、参加体験型のプログラムを通して、保護者の子どもへのかかわり方を見つける機会とし、その後継続的に少年自然の家を利用した活動につなげる。	小中学生を含む家族 30/30 89.5% (9/10家族)	6/19～20 1泊2日

キ 公開シンポジウム等による発信・普及

施設名	タイトル	ね ら い	日時・場所 参加者数
那須甲子	全国少年自然の家職員等「総合的な学習の時間」と体験活動シンポジウム	事例発表や研究協議を通して、学校教育における総合的な学習の時間と体験活動の充実を図る。	平成16年11月 11日～12日 那須甲子少年自然の家 120名
信州高遠	「生活学校の意義と課題」-科学文明社会に対応する新しい教育観-	生活学校の意義と内容について、より多くの人々に理解を深めてもらい、これからの教育に活用してもらうための研究発表会とする。	平成17年3月5日 東京大学 126名
妙高	心の教育セミナー講演会	問題行動、不登校等の現代的課題を抱える青少年に絶えず接している保護者等を対象に、青少年との関わり方や、家庭・学校地域社会の連携の在り方を見直し、悩みを抱える青少年が日常生活から変容していくような支援体制の充実を図る。	平成16年10月2日 妙高少年自然の家 51名
曽爾	「自然体験活動とADHDシンポジウム」～解決へのアプローチ～	平成13年度から4年間継続して実施してきた主催事業「みんなでリフレッシュ」の成果と課題を広く発信するとともに、専門家の協力を得て今後の方向性を明らかにすることで、ADHDやLD傾向のある子ども達やその保護者が抱えているさまざまな課題を解決するアプローチとする。	平成17年2月26日 檀原文化会館 (奈良県檀原市) 280名
夜須高原	『障害のある子のための野外活動のすすめ』～夜須高原少年自然の家 “いきいき”キャンプの実践から見えてきたこと～	地域や学校で障害のある子ども達の可能性を拓く体験活動の場や機会を多く持っていただくために、夜須高原少年自然の家が行った「夜須高原“いきいき”キャンプ」の実践から見えてきた体験活動の大切さや必要性を紹介しながらこれからの在り方を考える場とする。併せて、福岡県が実施している障害児体験活動支援事業を紹介することで、より多くの子ども達へ活動の機会を広げたい。	平成17年3月19日 電気ビル8号会議室 (福岡県福岡市) 80名
本部	全国子どもと自然体験フェスティバル	自然体験や生活体験の教育的意義について、広く国民に発信するとともに、家庭・地域・学校における体験活動の充実を図る。	平成16年10月 16日～17日 那須甲子少年自然の家 6,644人 内訳 宿泊 328人 日帰り6,316人

学校週5日制対応事業

施設名	事業名	対象者	実施期間	参加者/対象者
日高	森の恵みのフェスティバル (新規)	少年とその家族	①5/15～16 ②6/26～27 ③9/11～12 ④1/29～30	①101/100 ②100/100 ③100/100 ④99/100
花山	「家族のつどい」 (継続)	小・中学生とその家族	①5/15～16 ②6/19～20 ③7/3～4 ④10/9～10 ⑤11/6～7 ⑥12/4～5 ⑦2/19～20 ⑧3/12～13	①42/60 ②44/60 ③68/60 ④29/60 ⑤32/60 ⑥41/60 ⑦43/60 ⑧54/60
	スポーツ雪合戦in花山 「国立花山少年自然の家雪合戦大会」 (新規)	小学生、スポーツ少年団	○1/29～30	242/200
那須 甲子	なすかしの森ウィークエンド ファミリークラブ (新規)	幼児・小・中学生とその保護者	①5/4～5 ②6/5～6 ③10/9～10 ④11/13～14 ⑤12/18～19 ⑥1/29～30	①100/100 ②47/100 ③28/50 ④34/50 ⑤100/50 ⑥62/50
	全国子どもと自然体験フェスティバル (新規)(再掲) (本部と共催)	家族・一般	○10/16～17	6644/6644 宿泊328/300 日帰り6316
信州 高遠	子ども自然学習隊 ～アルプスの森のひみつ～ (継続)	小学4年～中学3年	○6/26～27	79/30
	木工・わら細工・炭焼き体験 ～自然のぬくもりを感じよう～ (継続)	全国の小中学生を含む家族	○12/11～12	35/30
	自然の祭典～自然を食べよう！自然から学ぼう！自然と遊ぼう！～ (継続)	全国の小中学生を含む家族	○10/9～11	698/300 (内訳) 日帰り484 宿泊214
妙高	MYOKO光と風のフェスティバル (継続)	親子、一般	○9/25～26	3005/2000 (内訳) 日帰り1901 宿泊1104
	親子で体験！妙高の四季まるかじり (継続)	小・中学生を含む家族	①5/3～4 ②6/5～6 ③7/17～18 ④8/21～22 ⑤10/9～10 ⑥1/22～23	①64/50(11/10家族) ②39/50(9/10家族) ③47/50(12/10家族) ④22/50(6/10家族) ⑤52/50(12/10家族) ⑥15/50(4/10家族)

	妙高キッズアカデミー ～あなたは森の博士～ (新規)	小学1年～小学6年	①7/24～25 ②9/11 ③11/3 ④1/8 ⑤3/19～21	①20/30 ②26/30 ③20/30 ④17/30 ⑤18/30
立山	「スターウォッチング in 立山」 ～星座観測会～ (継続)	小・中学生とその保護者	①4/17 ②5/8 ③5/15 ④6/12 ⑤6/19 ⑥7/3 ⑦7/17 ⑧8/12 ⑨9/4 ⑩9/25 ⑪10/2 ⑫10/16 ⑬11/6 ⑭11/17 ⑮11/20 ⑯12/14 ⑰2/5 ⑱2/19 ⑲3/5 ⑳3/19	①22/22 ②33/33 ③119/119 ④18/18 ⑤21/21 ⑥8/8 ⑦58/58 ⑧57/57 ⑨59/59 ⑩8/8 ⑪18/18 ⑫6/6 ⑬36/36 ⑭4/4 ⑮22/22 ⑯12/12 ⑰25/25 ⑱94/94 ⑲76/76 ⑳27/27
	バードウォッチング in 立山 ～星座観測会～ (継続)	小・中学生とその保護者	①4/18 ②5/9 ③5/16 ④6/13 ⑤6/20 ⑥10/3 ⑦10/17 ⑧11/7 ⑨11/21 ⑩3/6 ⑪3/20	①5/5 ②19/19 ③8/8 ④13/13 ⑤12/12 ⑥8/8 ⑦4/4 ⑧13/13 ⑨8/8 ⑩9/9 ⑪7/7
	みんな集まれトントンの森へ 「ふれあい・わくわくファミリー」 (新規)	小・中学生とその保護者 (家族)	①6/5～6 ②10/9～11 ③2/26～27	①122/80 ②117/100 ③100/100
	みんなおいでよ！ 立少フェスティバル (継続)	小・中学生とその保護者 (家族)	①5/15 ②5/16	①679/400 (内訳) 日帰り 529 宿泊 150 ②251/400
	潮騒キャンプ (新規)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	①5/29～30 ②9/25～26	①65/50 ② 7/30
若狭 湾	梅は甘いか酸っぱいか？ (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	○6/12～13	52/50
	ソレひけ！ヤレ釣れ！大漁だ？ (新規)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	○8/18～19	40/40
	早く来い来いお正月 (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	○12/18～19	62/50
	くんせいモクモク、菌打ちトントン (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	○12/20～21	47/50
	遊ぼう！リーダーのお兄さん ・お姉さんと (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	○3/5～6	27/50
	祭～夢空間 in トビー～ (継続)	子どもから大人まで	○10/24	361/200
曾爾	【スマイル家族①】(6回シリーズ) ○ホテルでスマイル (継続)	子どもを含む家族及びグループ	○6/12日帰り	81/70

	④音「音と遊ぼう！」 (新規)		①4/24 ②5/22 ③6/26 ④7/24 ⑤9/25 ⑥10/23 ⑦11/27 ⑧12/25 ⑨1/22 ⑩2/26 ⑪3/26	①16/20 ②22/20 ③10/20 ④7/20 ⑤8/20 ⑥13/20 ⑦7/20 ⑧9/20 ⑨10/20 ⑩10/20 ⑪8/20	
	徳地の森ファミリーデー (継続)	親子、家族等		○10/3	905/300
室戸	室戸くろしお祭り (継続)	家族・グループ	○2/5~6	1148/100 ①2/5 宿泊 58 日帰り 345 ②2/6 日帰り 745	
	野根山街道トレッキング (継続)	小学校高学年・中学生		○10/23~24	16/30
	自然の家ファミリーウィーク (継続)	家族・グループ	○5/3~5	785/600 内訳 ①5/3 宿泊 204 日帰り 109 ②5/4 宿泊 134 日帰り 69 ③5/5 宿泊 134 日帰り 135	
夜須高原	夜須高原ファミリーウォークデー (継続)	幼児及び小・中学生とその家族、グループ等		○10/23	223/200
	夜須高原かがし祭り (継続)	幼児及び小・中学生とその家族		○11/7	514/514
	冬休み思い出プラン(冬休みプラン) (継続)	幼児及び小・中学生とその家族、グループ等		○12/25~30	309/300 内訳 宿泊 108 日帰り 201
	冬休み思い出プラン ～ゆく年くる年～ (継続)	幼児及び小・中学生とその家族、グループ等		○12/31~1/1	積雪のため中止 0/100
	夜須高原フェスティバル (継続)	幼児及び小・中学生とその家族、グループ等		○3/12~13	697/500 内訳 宿泊 376 日帰り 321
	夜須リンピック・夜須リンキッズ (継続)	幼児及び小・中学生とその家族、グループ等	①9/18 ②10/16 ③11/20 ④12/18 ⑤1/15 ⑥2/19 ⑦3/12	①126/50 ②170/50 ③69/50 ④21/50 ⑤87/50 ⑥37/50 ⑦122/50	
諫早	「ヤマネっ子クラブ」 ①春・「若葉とハーモニー」 (継続)	小学1年～4年		①5/8~9	① 75/50
	②夏・「トンボと水と星のファンタジー」 (継続)			②7/17~18	② 75/50
	③秋・「実りのシンフォニー」 (継続)			③11/13	③ 60/50
	④冬・「春待ちメモリー」 (継続)			④3/5~6	④ 42/50
	家族で実りのシンフォニー (新規)	小学1年～4年		○10/23	106/100

大隅	大隅くん家オープンデー (新規)	子ども・家族・グループ等	①5/15 ②6/19 ③9/18 ④10/16 ⑤12/18 ⑥2/19	①10/60 ②26/60 ③184/60 ④179/60 ⑤41/60 ⑥85/60
	大隅くん家フェスティバル (継続)	家族・グループ・一般成人	○11/20～21	1390/1390 内訳 宿泊 328 日帰り 1062

③ 少年教育指導者研修の実施

○ 少年教育指導者を対象とした専門性の高い研修の実施

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	「はなやま冒険教育(PA)指導者講習会～アドベンチャーベースドカウンセリング編 (継続)	PA(プロジェクトアドベンチャー)の手法や概念について基礎知識やスキルを持った指導者を対象に、基本的な安全管理の技術とプログラムの組み立て方、雰囲気作りの手法を体験とディスカッションの両面から学ぶ。	はなやま冒険教育(PA)体験会、MAP講習会修了者 17/15 100%	9/10～12 2泊3日
	「はなやま冒険教育(PA)指導者講習会～ファシリテーショントレーニング編 (継続)	個人やグループの成長を支援するために必要な手法を学び、PAファシリテーターとしての知識・技術の向上を図る。	はなやま冒険教育(PA)体験会、MAP講習会修了者 15/15 92.3%	10/15～17 2泊3日
那須甲子	「総合的な学習の時間」と体験活動シンポジウム (本部共催) (新規)	学校教育と少年自然の家における体験活動の充実を図るため、研究協議を通して、その連携方策を探る。	小・中・高等学校校長・教頭・教員 青少年教育施設職員等 120/100 82.5%	11/11～12 1泊2日
信州高遠	体験活動の円滑な実施を促進するための指導者の養成を目的とした研修(体験活動担当教員講習会) <東日本ブロック> (新規)	学校教育における社会奉仕体験活動や自然体験活動をはじめとした様々な体験活動の一層の充実を図るため、体験活動の教育課程への位置づけや、体験活動のプログラムの開発等について、必要な知識等を習得させ、受講者により、これらの内容を踏まえた研修等が各地域で行われるようにする。	都道府県教育委員会等の指導主事、教育センターの研修担当主事等、小・中・高等学校教員 51/70 66.0%	10/25～28 3泊4日
立山	全国少年団体指導者研修 (本部共催) (新規)	少年団体指導者が一堂に会し、青少年の今日的な課題の協議・研修を通して、子どもたちの自然体験活動の充実を図るとともに、少年団体の活動の活性化及び連携の促進を図る。 <(社)中央青少年団体連絡協議会>	少年団体指導者 自然体験指導者 生涯学習担当者 青少年教育施設職員等 159/100 92.3%	10/22～24 2泊3日
曽爾	曽爾高原いきいき体験～少年教育指導者研修～ (継続)	少年教育の指導者に自然体験に必要な知識や技術、指導方法についての研修を行いその資質の向上を図る。	青少年教育施設職員、社会教育関係諸団体指導者等 30/25 96.0%	12/1～3 2泊3日
山口徳地	徳地アドベンチャー教育プログラム指導者講習会 (継続)	「徳地アドベンチャー教育プログラム」における専用施設(エレメント)の効果的な使い方やプログラム立案に関する講義・実習を通して、「徳地アドベンチャー教育プログラム」の指導者を養成するとともに、指導経験者の力量を高める。	徳地アドベンチャー教育プログラム体験会参加者、本所指導者認定証所持者、十種ヶ峰講習会参加者、PAJ主催講習会等参加者 18/28 91.5% 8/28 99.0%	7/31～8/2 10/9～11 各2泊3日

	環境教育フォローアップ研修 (新規)	これまで、実施してきた「環境教育担当教員講習会」に参加した者に、受講後の実践上の課題に関する研究協議や環境教育の新しい方法のワークショップを行い指導力の向上を図るとともに、環境教育推進に資する。	環境教育担当教員講習会参加者、環境教育に興味・関心のある教育・教育委員会関係 35/50 93.9%	1/14～16 2泊3日
室戸	少年教育指導者研修 (教育効果の実証) (本部共催) (新規)	少年教育に携わる指導者に必要な知識や技術等の研修を通して、能力の向上を図る。	少年教育指導者 37/30 91.8%	2/7～10 3泊4日
諫早	体験活動の円滑な実施を促進するための指導者の養成を目的とした研修(体験活動担当教員講習会) <西日本ブロック> (新規)	学校教育における社会奉仕体験や自然体験活動をはじめとした様々な体験活動の一層の充実を図るため、体験活動の教育課程への位置づけや、体験活動プログラムの開発等について、必要な知識等を修得させ、受講者により、これからの内容を踏まえた研修等が各地域で行われるようにする。	都道府県教育委員会等の指導主事、教育センターの研修担当主事等、小・中・高等学校教員 56/80 92.6%	2/22～25 3泊4日
大隅	少年教育指導者研修 (本部共催) (新規)	少年教育において自然体験活動の果たす役割の重要性を再認識し、「総合的な学習の時間」へのアプローチやその方法・手段について研修する。 ----- <鹿児島大学農学部附属高隈演習林>	少年団体指導者・教員・青少年教育行政担当者・青少年教育施設職員等 36/30 96.4%	9/23～26 3泊4日

< >内は、共催・連携した専門機関・団体等、以下同じ

○ 関係機関等との十分な連携による事業の展開

ア 少年団体指導者等を対象とした研修

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	野外活動指導者講習会 (新規)	自然体験活動や環境学習、冒険教育を推進する青少年教育指導者の養成を図る。 ----- < 札幌市野外活動教育研究会 >	学校及び社会教育団体の指導者 26/30 87.0% 22/30 97.2% 24/30 94.8%	6/12～13 1泊2日 9/18～20 10/9～11 各2泊3日
	「広げよう花山フィールド」(利用団体指導者講習会) (新規)	本少年自然の家利用団体指導者等を対象に「総合的な学習の時間」等で特色のある利用事例を紹介することや体験学習法の考え方を取り入れたプログラムを実際に体験することを通して、今後の教育活動に役立てる機会とする。	小・中学生等の利用団体指導者、小・中学校教員、少年自然の家職員、青少年教育関係者 54/30 100% 54/30 100%	4/19～20 6/24～25 各1泊2日
信州 高遠	自然体験活動指導者講習会 - 子どもたちの体験活動の充実のために - (継続)	自然体験活動の意義を理解し、少年期に必要な体験活動について講義や実技などを通じて学び、指導者としての資質の向上を図る。	学校教育関係者 社会教育関係者 自然体験活動に興味・関心のある人 36/40 76.0%	5/14～16 2泊3日
	教員志望の学生用体験的学習講座 (新規)	教員志望の学生がさまざまな体験活動を通じて、生活の知恵や言葉・道徳心・社会性・創造する力・表現する力等を習得し学校現場に即応できる実践力・指導力の向上を図る。	学生、大学院生の教員志望者 21/30 82.4%	9/20～30 10泊11日
妙高	MYOKOプログラム体験会 (継続)	地域の指導者、利用団体、さらに今後の利用拡大を目指した団体等の指導者が、妙高少年自然の家がもつ魅力あるプログラム(主として自然環境及びクラフト)を体験し、指導力の向上を図るとともに、今後の利用拡大を目指す。 ----- < 共催・国立妙高少年自然の家ボランティア協議会 >	地域指導者、幼稚園・学校の教職員 利用団体の指導者 57/50 92.7%	4/24 日帰り
	妙高体験学習法指導者講習会 (新規)	体験学習法を基盤とした、当所のプログラムの理解・普及を図るとともに、指導者の養成と資質の向上を図る。	教職員、青少年教育関係者、大学生等 50/45 96.0%	6/25～27 2泊3日
若狭 湾	海のプログラム指導者研修 (新規)	・海のプログラム開発に伴い、今後の普及推進のための指導者の育成を図る。 ・海のプログラムのすばらしさを体感する機会を提供する。	小・中・高等学校教員、公立施設職員、少年教育指導者、 31/30 87.1%	6/25～27 2泊3日
山口 徳地	徳地アドベンチャー教育プログラム体験会 (継続)	様々な野外活動を「人間関係作り」や「信頼する心の育成」といった視点からアプローチするプロジェクトアドベンチャーの手法を応用した「徳地アドベンチャー教育プログラム」を体験することにより、ねらい・内容等の理解を図る。	冒険教育や体験教育に興味・関心のある18歳以上の者 49/28 80.6% 15/28 86.2%	5/29～30 7/3～4 各1泊2日

	アドベンチャー教育（P A手法）実践事例研究会 （継続）	プロジェクトアドベンチャーの手法による 実践事例発表や研究協議により効果的な活用 方法を検討し、今後の実践に生かす。	P Aの手法で教 育活動を実践し ている者 24/30 55.6%	2/12～13 1泊2日
室戸	青少年指導者のための 水辺活動セミナー （継続）	様々な水辺活動を通し、学校教員及び教育 施設職員における水辺活動指導の資質向上を 図る。	青少年教育指導 者、学校教員 8/10 96.0%	8/4～6 2泊3日
諫早	省庁連携事業 「子どもの農業体験活 動等指導者養成事業」 （新規）	農業体験活動指導者や青少年教育施設指導 者などを対象として、子どもの理解や環境学 習を組み込んだ研修を実施し、少年自然の家 の教育機能を広く知らしめる。 < 共催：長崎県農村整備課 >	農業体験活動指 導者、青少年教育 施設職員等 30/30 100%	11/18～19 1泊2日

イ 教員を対象とした体験活動を促進する研修

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	「はなやま冒険教育 (PA)体験会」 (継続)	本少年自然の家を利用する小・中学校等教員を中心に、PA(プロジェクトアドベンチャー)ロープコースを用いた冒険教育の体験実習を行うとともに、コースの効果的な利用及び安全管理について理解を図る。	小・中学校等の利用 団体指導者、教員、 少年自然の家職員、 青少年教育関係者 13/15 100% 26/30 92.3%	4/23~25 8/27~29 各2泊3日
	教育改革と体験学習法 全国ミーティング (重点事業) (継続)	様々な体験学習法展開の諸問題について、ワークショップ形式での研究協議と討議、体験学習法に基づく実践例の発表、教育関係者と体験学習法実践者との情報交換等を通して、今後の教育活動に役立てる機会とする。 <主催:(株)プロジェクトアドベンチャージャパン共催:宮城県教育委員会>	全国の教員及び体験学習法に興味・関心がある成人 123/100 97.0%	10/30~11/1 2泊3日
那須 甲子	第1回 体験活動研究教員ゼミ ナール (新規)	教員の指導力を高めるため、教育改革の動向や体験活動の指導方法等、今日的課題を学ぶ。 <後援:千葉県教育委員会・栃木県教育委員会・茨城県教育委員会・福島県教育委員会・白河市教育委員会・西郷村教育委員会>	小・中・高等学校等 教員 42/25 83.9% 31/25 88.0% 「総合的な学習の 時間」と体験シンポ ジウムと兼ねる	8/17~18 10/21~22 11/11~12 各1泊2日
	幼児教育等指導者研修 (新規)	幼児・児童の自然体験活動の推進を図るため、自然体験活動の指導に必要な知識・技術について学ぶとともに、これら活動のプログラム開発を指向する。 <後援:福島県国公立幼稚園園長会・福島県国公立幼稚園教育研究会・栃木県幼稚園連合会>	幼稚園教員 保育園保育士 50/50 100%	8/23~25 2泊3日
妙高	自然の中で「総合」 ワンダー・アース ~総合学習プログラム 実践・開発セミナー~ (継続)	「総合的な学習研究会」を設置し、総合的な学習支援事業と連動しながら本施設の自然環境を活用した総合的な学習の時間のプログラムを研究開発する。その成果を総合的な学習の時間の活動編としてまとめ、広報・普及に努める。 <後援:上越教育大学・新井頸南地域シルバー人材センター・上越地域振興局農林振興部 林業振興課>	小・中学校の教職員 及び教育関係の大 学生等 4/20 11/20 100% 11/20 9/20 4/20	5/15 6/26 日帰り 9/4~5 1泊2日 10/16 2/19 日帰り
立山	集団登山指導者研修会 -子どもたちに登山の すばらしさを- (継続)	集団登山の企画・運営に必要な基礎知識・技能やマナーを身につけ、指導者としての資質を高めるとともに立山連峰の大自然を感得する。 <共催:文部科学省登山研修所>	小・中・高等学校等 教員、青少年団体指 導者、青少年教育関 係者 35/30 90.3%	8/18~21 3泊4日
	指導者のための自然の 中でのエンカウンター 研修会 (新規)	自然の中で行われる人間関係向上に生きるエンカウンター等のゲームを身に付け、宿泊学習や学級運営に役立つ指導方法を普及する。	利用団体の指導者、 小・中・高等学校教 員、教育系学生等 25/20 100%	5/27~28 1泊2日

	豊かな森からの発信！ 「子どもと創る総合的な学習の時間」 (継続)	自然の家の特色や環境を生かし ・自然の中でさまざまな活動にチャレンジする冒険プログラム ・自然を教材として、環境問題への理解を図る環境学習プログラム ・自然の神秘にふれて科学的興味・関心を喚起する科学学習プログラムを基本とした、「総合的な学習の時間」の在り方 について研修を深め、指導者としての資質を高める。	小・中・高等学校等 教員、青少年団体指導者、青少年教育関係者、学生等 33/20 95.0%	8/18～19 1泊2日
	雪あそび講習会 - 園児、 小学校低学年編 - (新規)	幼・保・小の指導者が、雪を使った様々な遊びや活動を体験し、その指導法を身につけることを通して、指導者としての資質を高めるとともに、幼児、小学校低学年の冬の自然体験の普及・振興を図る。	幼・小学校教員、保育士・青少年団体指導者、青少年教育関係者、学生等 17/20 93.6%	1/22～23 1泊2日
曾爾	先生あつまれ！ ～曾爾の自然を生かした体験学習～ (新規)	自然体験活動を総合的な学習の時間や他の教科などにどのように活用するのか、その方法と意義について研修する。 ----- <共催：奈良県教育委員会>	各学校園教職員 教育委員会職員 136/130 97.0%	8/28～29 1泊2日
吉備	「石っておもしろい！石磨きワークショップ」～どこでもミュージアム・エコin吉備 (新規)	地域の自然を生かし、石の成り立ちについて知るとともに、石磨きワークショップを通して、子どもたちの挑戦する心、ものを大切にする心等を育む支援の在り方を学ぶ研修を行う。 ----- <共催：東京学芸大学・独立行政法人国立科学博物館>	幼・小・中学校教員、環境教育及び造形活動に関心のある人 29/20 100%	1/22～23 1泊2日
夜須高原	夜須高原「自然観察会」 (4回シリーズ) (継続)	夜須高原少年自然の家周辺に生育する植物・生息する動物等を季節毎に観察・理解することを通して、知識や技能及び指導法の向上を図る。	教職員・地域の指導者・教育施設職員 28/24 88.5% 中止 33/24 84.0% 25/24 93.3%	5/29～30 8/29～30 (中止) 10/30～31 12/25～26 各1泊2日
	夜須高原野外教育 指導者セミナー (継続)	少年の現代的課題を踏まえ、夜須を拠点とした野外教育の実践的な活動について研究協議し、学社連携・融合を推進する。	教職員・地域の指導者・教育施設職員 45/40 89.7%	1/22～23 1泊2日
諫早	子どものコミュニケーションに関する総合事業 学校教育「教師のための体験学習法ワークショップ」 (重点事業) (継続)	利用予定学校の教員が、少年自然の家を利用する際に、体験学習法の手法を活用しながら、目的・目標を明確にした活動を企画・展開できるような研修を実施する。	当所を利用する小中学校の教員 2 7 32/30 91.5% 22/30 94.2% 22	4/24 6/19 7/28 7/29 9/4 各日帰り
	子どものコミュニケーションに関する総合事業 社会教育「児童生徒の社会性と対人関係能力を育む心と行動のセミナー」 (重点事業) (継続)	社会性や対人関係能力が身につけていないと言われる現代の児童生徒の状況に対応した教育プログラムの体験を通して、問題の解決促進に寄与する。	青少年指導者 教員等 62/30 91.9%	2/5～6 1泊2日
大隅	自然体験活動指導者研修 (継続)	自然体験活動に関する教育的意義やあり方を理解し、これに必要な基礎知識や技術を習得する。	教職員・少年団体指導者等 20/30 91.2%	8/16～18 2泊3日
本部	教員のための自然体験学習指導者研修会 (新規)	全国の教職員を対象に、実践的な体験活動に関する研修を通して指導力の向上を図る。	小中学校教員 教育関係者等 20/30 100%	8/18～20 2泊3日

ウ 公立施設職員を対象とした研修

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	第33回全国少年自然の家運営研究会 (新規)	自然体験等様々な体験活動を通じ、21世紀を切り拓く心豊かでたくましい子どもたちを育成するために、全国の少年自然の家の関係者が一堂に会し、事業及び施設運営のあり方について研究協議する。	国公立少年自然の家等職員 125/125 (未実施)	10/13~14 1泊2日
	北海道青少年教育施設職員研修会 (継続)	北海道内の国公立青少年教育施設の指導系職員が一堂に会し、青少年教育施設の現状や今日的課題について研究協議を行い、青少年教育施設職員としての資質の向上を図る。 <会場：恵庭市青少年研修センター>	道内青少年教育施設職員 17/17 (未実施)	10/27~29 2泊3日
那須甲子	全国少年自然の家職員等専門研修 (重点事業) (継続)	魅力ある少年自然の家づくりを目指し、事業運営のあり方、指導法等について研修することにより、指導系職員等の力量を高める。	少年自然の家等に勤務する職員等 35/30 90.3%	10/25~28 3泊4日
信州 高遠 ・ 妙高 ・ 立山	少年自然の家等職員研修会 (継続)	青少年の学校外活動の充実のため、青少年教育施設の今日的課題について広域的な視点で実習や協議をするとともに、少年自然の家等職員の資質の向上を図る。	国・公立少年自然の家等職員、生涯学習担当者等 36/30 92.3%	12/1~3 2泊3日
山口 徳地	中国・四国地区少年自然の家職員セミナー (継続)	少年教育が直面する課題についての研究協議や少年教育施設職員に求められる知識・技能に関する研修を行い、資質・能力の向上を図るとともに、施設間の連携を深める機会とする。 <中国・四国地区少年自然の家連絡協議会・国立吉備少年自然の家・国立室戸少年自然の家>	中国・四国地区少年自然の家職員及び少年教育関係者 26/21 84.6%	3/2~4 2泊3日
夜須 高原 ・ 諫早 ・ 大隅	九州地区公立少年自然の家職員研修 (継続)	九州地区内の国公立青少年教育施設における管理・運営上の諸問題について協議し、施設相互の一層の連携等を深めるとともに、施設職員としての資質の向上を図る。	施設職員 62/50 95.3%	2/8~10 2泊3日

④ ボランティアの養成・資質向上研修
養成事業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	ボランティア・セミナー (継続)	国立日高少年自然の家でボランティア活動を行うことを希望する人に対して、ボランティア活動を行うために必要な事項についての研修を行い、青少年にボランティア活動の機会を提供する。	15歳以上の学生、 社会人で当所の ボランティア登 録及び活動を希 望する人 期 37/30 36/30 83.5% 期 20/30 19/30 83.9%	5/8～9 1泊2日 5/15～16 1泊2日 6/26～27 1泊2日 7/24～25 1泊2日
花山	第26期 花山ボランティア・スクール (継続)	ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行うとともに、子どもの自然体験への指導をとおして、指導者としての技術を高め、青少年教育施設におけるボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。	各国立少年自然 の家や青少年教 育施設でボラン ティア活動を志 す者 32/30 96.9%	8/18～22 4泊5日
那須 甲子	子どもを支援する青年 ボランティア養成研修 (継続)	少年自然の家等におけるボランティア養成を図るために必要な知識・技術の習得を図るとともに、その養成研修のプログラム開発を指向する。	高校生以上 78/50 87.8%	5/2～4 2泊3日
信州 高遠	ボランティア養成講座 - 子どもたちの体験活 動を支えるボランティ アのつどい - (継続)	本少年自然の家での「ボランティア」の意義と役割について理解を深め、体験活動を支援しようとする意欲を育てるとともに、本少年自然の家における体験活動を支えるボランティアとしての初歩的な知識・技術及び態度について実習を交えて研修する。	信州高遠少年自然 の家の体験活 動を支えるボラ ンティアを志す 人 29/30 91.7%	4/24～25 1泊2日
妙高	妙高ボランティア 養成セミナー (継続)	本少年自然の家のボランティア協議会と共催で開催し、講義や実習を通してボランティアの指導力や資質の向上を図る。 また、ボランティア協議会を中心にボランティアがより主体的、自主的にやりがいを持って活動することができるよう、組織の充実とコーディネートシステムの整備を図る。 ----- <妙高ボランティア協議会>	大学生(短大・専 門学校生を含 む)、青年、成年 30/30 84.0%	5/21～23 2泊3日
立山	立山少年自然の家 ボランティア養成セミ ナー基礎編、実践編 (継続)	講義や少年自然の家及び周辺での野外活動体験を通して、ボランティア活動に必要な知識・技能を習得する。	中学生を除く 15 歳以上 基礎編 26/20 89.6% 実践編 16/20 81.2%	基礎編 9/25～26 1泊2日 実践編 10/9～11 各2泊3日
若狭 湾	ボランティアリーダー セミナー (継続)	・青少年教育施設や子ども会などでのボランティアリーダーの役割について理解を深める。 ・野外活動の基礎的知識や技能を習得する。 ・当施設でのボランティア活動を担う人材を育成する。	高校生、高等専門 学校生、専修学校 生、各種学校生、 大学生、社会人 37/25 84.0%	7/22～24 2泊3日

曾爾	「高原デビューしませんか」～自然の家ボランティア養成研修～ (新規)	野外活動においてボランティアが果たす基本的な役割や意義並びに技能・態度について、研修する。	16歳以上の方 入門編 25/20 96.0% 資格取得編 21/20 95.2% 資格取得編 11/20 100%	入門編 5/8～9 1泊2日 資格取得編 6/5～6 1泊2日 資格取得編 9/18～20 2泊3日
吉備	少年自然の家 ボランティア研修 (継続)	ボランティアとしての知識・技術及び態度について研修し、ボランティア活動への理解を深めるとともに、ボランティア活動を実践しようとする意欲を育てる。	高校生・大学生及び社会人 45/40 100%	5/28～30 2泊3日
山口 徳地	国立少年自然の家 ボランティア養成研修 (新規)	青少年教育・ボランティア・自然体験活動の理解に関する講義及びボランティア活動・自然体験活動の演習・実習を行い、少年自然の家ボランティアとしての素地を培うとともに、ボランティア活動意欲を高める。研修Aは共通受講、研修Bは各人の選択とし、A・Bともに受講・実習で終了とする。	国立少年自然の家でボランティア活動を志す者 41/30 82.8%	研修A 5/8～9 1泊2日 研修B 主催事業でのボランティア実習
室戸	自然の家ボランティア リーダー研修 山編 (継続)	当所の活動についての理解を深め、指導技術の向上を図るとともに、新規ボランティア・リーダーの登録を促す。また、次年度のボランティア・リーダー登録に向け、指導技術の向上を図る。	当所ボランティア・リーダー希望者 10/30 92.2%	5/15～16 1泊2日
	自然の家ボランティア リーダー研修 海編 (継続)		14/30 88.6%	6/5～6 1泊2日
	自然の家ボランティア リーダー研修 実践編 (継続)		12/30 94.0%	2/25～27 2泊3日
夜須 高原	少年自然の家ボランティア養成研修 (新規)	少年自然の家の役割を理解するとともに、野外教育活動の指導・支援ができるボランティアの養成・確保を図る。	高校生・大学生・一般 48/40 80.9%	5/14～16 2泊3日
諫早	青少年の奉仕活動・体験活動推進事業 「施設ボランティア研修」 (継続)	18歳以上の学生・社会人が、少年自然の家における自然体験活動を推進するための基礎的な知識や技術を習得する機会とし、青少年教育施設のボランティアを育成する。	18歳以上 28 91.5% 24 95.0% 22 95.1% 6 86.6%	5/22～23 1泊2日 6/6 日帰り 7/10～11 1泊2日 1/8 日帰り
大隅	おおすみくん家ボランティア養成研修 (継続)	ボランティア活動についての基本的な心構え等について理解するとともに、ボランティア活動の基本的な知識と技能の習得を図る。	高校生・大学生等 54/20 82.0%	6/4～6 2泊3日

☆ 資 質 向 上 の た め の 事 業

施設名	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	東日本地区 国立少年自然の家「ボラン ティア資質向上研修」 (本部共催) (新規)	東日本地区で活躍するボランティアを対象 に、ボランティア活動に必要な理論について 講義や演習をとおして専門性の向上を図ると ともに青少年教育施設等におけるボランティ ア活動に積極的に取り組む意欲を高める。	各国立少年自然 の家で実施した 「ボランティア 養成研修」を修了 した者 28/30 89.9%	11/19～21 2泊3日
	花山フリースクール 第1回 「プロジェクトワイル ド講習会」 花山フリースクール 第2回 「生態学基礎講座」 (継続)	野生生物と自然に対し責任ある行動を促す ために、生き物に重点をおいた環境教育プロ グラムの体験をする。 環境教育に対する意識を高め、知識、能力 及び実践力を向上させる。	第26期花山ボ ランティアスク ール修了生、小・ 中学校教員、少年 自然の家職員、青 少年教育関係者 第1回 31/20 92.9% 第2回 10/20 100%	9/18 1/22 各日帰り
那須 甲子	青年ボランティア資質 向上研修 (継続)	ボランティア一人一人の資質向上を図るた めに研修活動を行うとともに、ボランティア 相互の意見交換や交流を図る。	国立少年自然 の家ボランティ ア登録者 15/15 81.8%	9/18～20 2泊3日
立山・ 若狭 湾	<4施設ボランティア ネットワーク事業> 集い語ろうボランティ アフォローアップセミ ナー (継続)	近隣施設で活躍する施設ボランティアが集 い、青少年の野外活動を援助・指導するた めの方法や理論について実習・協議するとと もに、各施設ボランティア相互の交流を深め、 ネットワーク化を図る。 <国立能登青年の家・国立乗鞍青年の家>	4施設(乗鞍・若 狭湾・能登・立山) ボランティア 16/30 88.8%	8/27～29 2泊3日
吉備	施設ボランティア交流 会(MOステーション) (継続)	近隣青少年教育施設のボランティアが主体 となって企画、運営、評価等の具体的、実 際の研修を実施することにより、ボランティ ア相互の交流を図るとともに資質向上を図 る。 <会場：岡山県青少年教育センター閑谷学校>	県内外の近隣青 少年教育施設の ボランティア 28/40 100%	12/11～12 1泊2日
山口 徳地	国立少年自然の家ボラ ンティア資質向上研修 (本部共催) (新規)	青少年教育・ボランティアの理解に関する 講義、ボランティア活動の運営、ボランティ ア学習、グループワークの講義・演習を行い、 少年自然の家ボランティアとしての知識・技 術の向上を図る。	各国立少年自然 の家で実施する 「ボランティア 養成研修」を終了 した者 26/30 86.0%	9/18～20 2泊3日
夜須 高原	ボランティア専門研修 (新規)	少年自然の家を支援するボランティアとし て、自然体験活動等における知識・技能を身 につけたボランティアリーダーの育成を図 る。	養成研修を修了 した者 16/20 100%	11/5～7 2泊3日